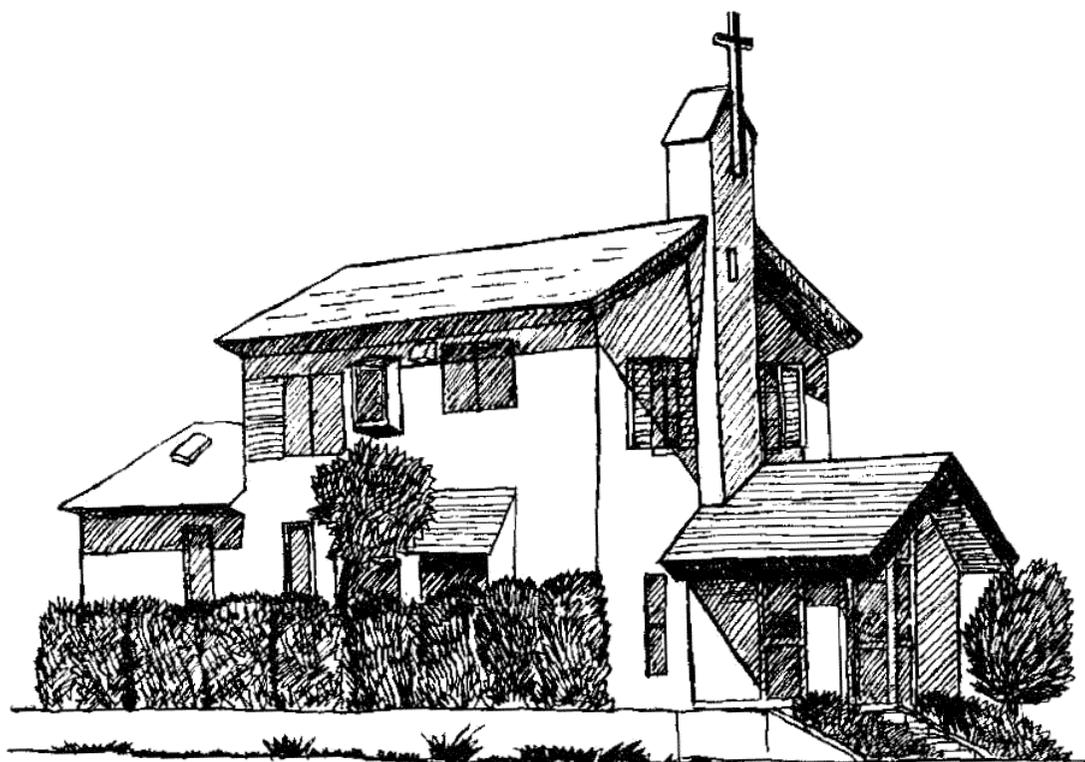


神の摂理 ～ 大垣伝道所の軌跡

1975年 ～ 2018年



日本キリスト改革派岐阜加納教会所属
大垣伝道所



1975年11月21日 大垣伝道所第1回集会 (吉良兄姉宅)



1983年頃 笠縫町金森さんの借家にて 遠山信和先生、百合子さんと共に

1980年頃 笠縫町金森さんの借家にて 服部博先生、寿賀子さんと共に





島町土地見学



1984年4月16日 島町会堂起工式





1984年10月10日 島町会堂献堂式



1987年8月14～15日 夏期修養会
羽島保養所にて



1988年頃



1992年 小峯明先生・真奈美さんと共に



1992年 加納・大垣合同青年会



1993年 新年礼拝諏訪哲夫先生・玲子さんと共に



1995年9月17日 橋本良雄兄洗礼式



1995年10月15日 長井正人先生・美登里さんと共に



1995年12月17日 クリスマス子ども集会



2002年4月28日 小川洋先生と共に
吉良さんご夫妻と共に礼拝をささげる



2003年3月30日 小川洋先生送別会



2003年4月27日 辻幸宏先生ご一家



2003年4月 辻幸宏先生ご一家と共に



2010年12月19日 クリスマス礼拝



2017年12月24日 クリスマス礼拝



2018年2月18日 感謝礼拝

大垣伝道所20周年記念誌(1995)
岐阜加納教会80周年史(2003)

【準備期間(1973年2月4日～1975年11月20日)】

1973年2月4日に開かれた加納教会の小会に於いて、加納教会宣教開始五十周年の記念事業として次の三つのことが決議された。

- 一、伝道所開設委員会の設置。
- 二、五十周年史作成委員会の設置。
- 三、五十周年記念集会委員会の設置。

この時設置された伝道所開設委員会の計画に基づいて伝道所開設は進められて行くことになる。伝道所開設委員会には、池沢松治長老(長)、秋山隆長老、西堀則男執事、木村幸夫兄の四名が選ばれた。

2月8日の岐阜加納教会の通信には「将来独立教会にすることを目標とし、その条件を満たす地に可及的速やかに開設する。開設地の選択、集会の立案の任を池沢長老にお願いする。」と記されている。

2月11日の壮年会例会において、2月18日に行われる三教会合同壮年会(犬山、那加、加納)の席上で岐阜加納教会宣教開始五十周年記念として三教会合同で伝道所を開設するという提案をすることが決められた。

2月18日に開かれた三教会合同壮年会の席上でこの提案を聞いた犬山教会と那加教会の長老の方々は、伝道所開設の主旨には賛成したが、資金面と伝道所開設の方法面で難色を示した。この時を最後にこの提案が三教会合同壮年会の席上で話し合われることはなかった。結局、加納教会宣教開始五十周年記念事業としての伝道所開設は、文字通り加納教会独自の事業となったのである。

4月9日の委員会で伝道所の候補地として、大垣市、江南市、羽島市の三市が候補に上げられた。

9月3日の委員会で大垣市一本に候補地が絞られた。その理由は、地理的なこと、県下第二の市であること、改革派教会が大垣市には必要であることの三点である。このようにして、大垣市に伝道所を開設するという計画は具体化していく。

委員会の伝道所開設の方針は、まず家庭集会から始めるということであつたらしい。どうやら、単なる無人の集会場を借りて、集会の日だけそこに集まるというやり方は方針に反したようである。

この方針のためか、伝道所開設の候補地探しにはかなり時間がかかったようである。1973年の9月3日に大垣市で伝道すると決めてから1975年11月21日に吉良昭一郎宅で第一回の集会が聞かれる迄に約2年と84日が経過したことになる。

(大垣伝道所20周年記念誌より)

1973年

2. 4 岐阜加納教会小会において、宣教開始50周年の年であるので、記念行事として、次の3つのことが決議された。
 1. 伝道所の開設
 2. 記念誌の発行
 3. 記念礼拝と感謝会を行う
- ・伝道所開設委員会：池沢松治長老（長）、秋山隆長老、西堀則男執事、木村幸夫兄
4. 9 委員会で伝道所の候補地として、

大垣市、江南市、羽島市の三市が候補に挙げられた。

9. 3 委員会で大垣市に候補地が絞られた。理由：①地理的なこと。②県下第二の都市。③改革派教会が大垣市に必要である。

1975年

7. 20 転入式執行 吉良昭一郎、恵子、牧子(未)、真一郎(未)、理三郎(未) 神港教会より

【家庭集会の時代(1975年11月21日～1976年9月30日)】

集会所：大垣市宮町4 6 - 1 第三昭和ビル4F 吉良昭一郎宅

「集会所には定住者がいなければならない」という方針の元で集会場探しは続く、大垣市に近い会員の家で伝道を始めようとするが、家を伝道所として開放することは断わられた。1975年の夏までこのような状態が続いた。

伝道所開設の夢がかなったのは、吉良昭一郎兄が大垣に赴任してきたことが大きな要因である。吉良兄は1974年の7月に帝人(株)岐阜工場に赴任した。四階建のビルの中にある吉良兄の家が大垣伝道所の最初の集会場所となる。「岐阜加納教会六十周年記念誌」に吉良兄が集會を聞かれる迄のいきさつを短く記しているのをそれを引用しておく。

「岐阜に赴任したときにはどの教会に転入するか未だ決めておらず、日基の大垣教会とMr. Bowman (40年以上大垣で伝道している宣教師で、知的障害者の施設『あゆみの家』の創設者でもある。)のルーテル教会に数度出席してみて、結局同じ改革派である岐阜加納教会に決めた。

半年位たった9月か10月のある日(これは1975年のこと)、諏訪牧師と池沢長老より大垣伝道所をもちたいと前から計画を立てていたのだが……との相談を受けた。私はお役に立つ事なら是非私の家を使っていたきたい、との返事をした。第一回の集會は1975年11月21日(金)の夜7時30分からだった。その後、毎月第三金曜日の夜集會が聞かれた。」

大垣の伝道は毎月一回というスローペースで行われた。説教は諏訪哲夫牧師が奉仕をしている。このように集會所が確保されて、徐々に伝道が進展していこうとする矢先に、吉良兄の転勤が決まった。1976年の8月のことである。委員会はこの事態の対応策として三つの案を出している。

- 一、韓国教会を借りる。
- 二、求道者の方々の家庭で集會をする。
- 三、教会で借家を探し、適当な管理者に住んでいただく。

第三案が良いとされ、この方針に従って管理者探しと借家探しが同時平行的に始まる。

その結果、管理者は、笹内寿賀子姉に決まる。そして集会所は、笠縫町の借家に決まる。
(大垣伝道所20周年記念誌より)

1975年

11. 21 岐阜加納教会宣教開始50周年を
記念して開設された岐阜加納教会所属
大垣伝道所第1回集会 場所：大垣
市宮町46の1 昭和第3ビル4階

吉良昭一郎宅

新しい人3名、加納教会より21名出
席にて集会を持つ(今後月1回第3金
曜日の夜開く)

12. 19 大垣伝道所クリスマス集会



大垣伝道所第1回集会 恵みの内に守らる
加納内教会伝道開始50周年記念事業
として祈って参りました大垣伝道所が、同伝
道所委員会の皆さまのご協力と吉良さん、大
妻の献身により、いよいよ開設の運びに到りま
した。祈りに応えて、思わぬ道を開いて下さった
主のみ名を讃美いたします。

今後、幾年かかるかはわかりませんが、中
部中会に大垣教会の名がしるされる日を待ち望

みながら、熱心と忍耐をもって伝道して行きたいと思ひます。

大垣伝道所の歴史的な第1回集会は、2/日(金)午後7:30より吉良さんのお宅において恵みのうちに守られました。そのときの模様は、吉良さんが書いてくださった同封の、「大垣伝道所通信」に詳しく出ておりますから、ぜひそれをご覧ください。

1975. 11. 24 通信より

キリスト教集会ご案内

すべて、疲れた人、重荷を負っている人は、わたしの
ところに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあ
げます。(マタイ11:28)

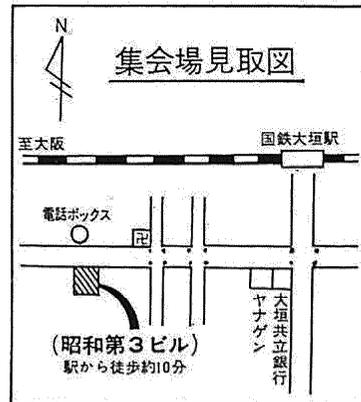
集会日・毎月第3金曜日 午後7時30分より

集会場・大垣市宮町46の1 昭和第3ビル 4階

吉良昭一郎宅 ☎ 81-7253 (吉良)

* どなたでもお気軽にお越し下さい *

日本キリスト改革派岐阜加納教会 大垣伝道所



吉良昭一郎宅で開かれた集会のためのチラシ 1975年

今から約22年程前、私は会社から南太平洋にあるフィジーに派遣されておりました。帰国が近づいた時に、会社から次の勤務地は、岐阜工場か又は山口県の徳山工場のどちらを希望するかと聞いてきました。私は岐阜は母の生まれ故郷でもあり、私も岐阜商業にいた事があるので迷わずに岐阜を選びました。当時私の家族は、父母も健在で子供が三人の七人家族でしたので、安八町にある社宅では収容は無理だろうとの会社の計らいで、大垣のヤナゲンの近くにある四階建のビルの四階全部を社宅としてあてがってくれました。十畳間が三間にダイニングキッチンのある広いものだったので、ある上司が「工場長の社宅より良いなあ」と皮肉られた事を覚えています。父母は神戸を離れるのは厭だと神戸に残り、長女は東京の自由学園の寮に入ったので、結局四人で暮らす事になりました。そんな頃の或る日曜日の礼拝の後、諏訪牧師より「大垣方面で家庭集会を月一回したいのだが引受けてくれませんか」との御言葉がありまして、「喜んでお受けいたします」と応えたのは二十年も前の事なのに、まるで昨日の事のように脳裏に浮かんで来ます。第一回の当日はそのビルの一階にある入口に「今晚キリスト教のお話があります。どなたでもおいで下さい。」と書いた立看板を立てて、青年会の皆様とヤナゲンの前あたりでビラを通行人に配りながら、果たして何人位が来てくれるだろうかと案じた事でした。十畳二間の間の襖をはずすと二十畳の部屋となり、折りたたみ式の机は毎回運ぶのは大変だからと何脚かを家に置いていました。幸いにも当時中学生だった佐々木君、飯島君ともう一人の飯島君の三人は、毎月熱心に参加してくれ「もう三人とも三十五、六才位の良き夫、良きパパとなっている事でしょう。」

そのほか、井深さん、小嶋さん、松野さん、井上さん、竹内さん、隣に住んでらした五十才位の男性桑原さん、帝人の青木さん親子、帝人関係の土井さん、東さん、ユニチカの土井さん等に加えて、岐阜加納教会からも十人位の方が応援に来て下さり24人が25人位の集会だったように覚えています。牧師が来られない時には、人生の途中で失明された内田長老の話は感銘深く、今でも思い出して心の支えとしています。私も一回だけ僭越ながらお話しさせて頂いた事を思い出します。私が岐阜に転勤になった事、また、集会に適した社宅が与えられたこと等はすべて神御自身のご計画であると信じます。僅か十ヶ月で私の東京本社転勤の為、服部さん宅にバトンタッチとなりましたが、第一回の家庭集会の日が大垣教会の伝道開始11月21日と書かれているのを見て、誠に光栄ある事と思い罪人をお使いになる神の憐れみを感じます。

また、岐阜加納教会の諏訪牧師を始め、元木さん、猪股夫人その他皆様の熱心な伝道活動が実を結び大垣伝道所となった事をお慶び申し上げます。皆様の熱心さにうたれ私の娘も幸いにも岐阜加納教会で信仰告白をする事が出来たのも神の恵みでした。これからも神の導き、恵みにより益々大きく、愛にみちた、熱心な教会へと発展していかれる事を祈って止みません。 主にありて。

神の憐れみにより与えられた、寝屋川の寓居にて。

(大垣伝道所20周年記念誌より)

【笠縫町の時代(1976年10月1日～1984年9月)】

集会所：大垣市笠縫町 8 - 3 金森荘東

管理者：笹内寿賀子

集会所は吉良宅から笠縫へと移された。笠縫の集会所で第一回目の集會が開かれたのは1976年の10月1日である。

1975年から今まで月に一回のペースで開かれてきた集會が月二回に増やされる。第一と第三の金曜日に集會が開かれることになる。第一金曜日は長老が奉仕をし、第三金曜日は諏訪哲夫牧師が奉仕を担当した。集会所を移した影響か、1976年には8名いた求道者が1977年には4名に減少している。

この夏、後に大垣伝道所の初代牧師になる服部博神学生が大垣の集會で奉仕をしている。1978年神学校を卒業した服部博兄が大垣の定住伝道者として迎えられた。この時点で、大垣伝道所には11名の礼拝出席があった。加納教会では、この年に大垣伝道所のための「特別積立基金」が始まった。

服部牧師の定住伝道者としての働きが始まり、大垣伝道所の活動も活発になってきた。今まで月二回の集會が、毎週の朝夕拝と教会学校、そして毎週水曜日の祈禱会という普通の教会並みの活動ペースになったのである。

この年(78年)のクリスマスには第一回特別伝道集會が開かれた。出席者は17名である。

ここに当時の教会役員を記しておく。

牧師：服部博

委員：笹内寿賀子(書記)、岡田定代(会計)、
元木昭男、元木順子、岡田 忠

1979年の2月2日に、服部博牧師と笹内寿賀子姉の結婚式が諏訪哲夫牧師の司式によって行われた。

その後、岡田宅、元木宅において月一回のペースで家庭伝道集會が始まる。特別伝道集會も春と夏の年に二回開かれ、大垣伝道所は本格的な伝道体制にはいる。

この年、大垣での初穂として又吉ひとみさんが洗礼を受けた(7月8日)。また、元木昭男、順子夫妻の三女の元木真理が幼児洗礼を受けた(12月30日)。

1980年の3月より毎月第二主日の朝の礼拝が大垣商工会議所で開かれることになる。年に二回特別伝道集會をもつという方針は変わっていない。この年の春の特伝は諏訪哲夫牧師によって守られ、秋の特伝は、当時、太田伝道所の宣教教師であられた佐々木弘至牧師が奉仕をした。1980年の教勢は13名である。一方この年に、大滝暁子姉より前年の210万円の献金に続いて、大垣市赤坂に所有の土地50坪が大垣伝道所のために捧げられた。この土地は260万円で売却され、大垣伝道所の土地購入の資金源に用いられることになる。加納教会側では、大垣に伝道が開始した当初から、土地を買いそこに教会堂を建て、伝道の基盤としたいとの願いがあり、会堂建築の可能性を常に探っていたと思われる。

すなわち、大垣の伝道は一方で服部牧師を中心にした笠縫町で借家を借りての伝道という歩みがあり、他方、笠縫町以外の土地を購入しそこに会堂を建てるという二本立の仕方であったように思われる。理想は笠縫町の借家の近くに会堂を建て、そこで伝道をするのであろう。しかし、現実には厳しい。笠縫の集会所と新会堂との地理的距離が開

けば開くほど、笠縫で伝道してきた牧師にとっては戸惑いの思いを感じるであろうことは容易に想像がつく。

1981年の3月に委員会は現在の大垣伝道所の所在地である大垣市島町に120坪の土地を購入した。土地価格は坪68,000円、総価格は8,185,840円である。土地購入の資金源は、加納教会で78年から始まった特別積立金の総額76万円、大滝姉からの献金470万円、中会からの借り入れ金300万円を合計した846万円である。この年の教会活動は前年と同じペースで進められた。特伝は年二回、春は猪股義男長老、秋は中根汎信牧師（四日市教会）の奉仕であった。

1982年、服部博牧師は西部中会の伝道委員会を通して呉焼山伝道所の牧師としての招聘を受け、これを受け入れた。

3月21日の臨時会員総会で服部博牧師の協力牧師辞職願いが承認された。3月28日には、加納教会において服部牧師の長女である野百合ちゃんの幼児洗礼式が行われた。

服部博牧師が辞職した後の大垣伝道所の活動は、朝の礼拝を加納教会の長老が順番に奉仕をし、夕拝と祈祷会は加納教会で合同して行うということになった。家庭伝道集会は諏訪哲夫牧師が奉仕をし、教会学校は又吉姉が引き継いだ。しかし、その又吉姉は沖縄の実家に帰郷することになり6月13日の送別祈祷会を後に沖縄へ帰った。

服部博牧師の辞職の申し出があつてから加納教会では後任牧師の候補者を探し始めた。その結果、遠山神学生が候補に上がった。早速、4月25日の朝の礼拝で遠山神学生に奉仕をしてもらう。

そして、5月6日に臨時会員総会を聞き、6月に卒業予定の遠山信和教師候補者を加納教会の協力定住伝道者として招聘することが可決された。

7月2日に遠山教師候補者とご家族が大垣に着任する。

10月10日に清水伸司兄の洗礼式が加納教会で諏訪哲夫牧師司式により行われた。清水兄は大垣で求道していた青年である。

11月4日に遠山教師候補者を加納教会の協力牧師として招聘するための臨時会員総会が聞かれた。

11月21日には大垣伝道所会堂建設予定地の見学が行われ、着々と会堂建築への道は備えられていった。12月12日遠山教師の岐阜加納教会協力牧師就職式が行われ、大垣伝道所の伝道は再び遠山教師によって活発になる。

従って1983年は、遠山教師によって着実に伝道が行われた。

諸集也会も定期的に行われた。ただしこの時点で、笠縫町から新しい会堂が建つ予定地の島町への移転は確実であったので、牧師、会員の気持ちは複雑であったろうと予想する。新しい会堂で伝道するという喜びと共に笠縫町から島町へ伝道地を移す事に伴う不安があつたであろう。

大垣伝道所の献堂式は1984年10月10日に行われた。大垣伝道所は約8年続いた笠縫町での伝道に終止符を打ち、島町での伝道へと移ったのである。

(大垣伝道所20周年記念誌より)

1976年

9. 1 大垣伝道所 新集会所決まる

大垣市笠縫町10-3 金森荘 東
借家を借りる

管理責任者：笹内寿賀子

- 10. 1 大垣伝道所 新集会所に移して初めての集会を行う
- 出席者22名 (加納含む)

新集会所における大垣集会守る

大垣市笠縫町に与えられた新集会所における第1回大垣集会は、10月1日(金)午後7時半から祝福の内に守られました。今回は同伝道所委員の皆さん5名の他、長老さん全員(水原さんは用のため欠席)と伝道所の前からの求道者の皆さん6名、家主さんの奥さん(元日基大垣教会会員、現在原始福音教会員)など22名ご出席、感謝と希望に満ちた集会でした。なお、同伝道所に電話がつきました。0584(74)0290番。同所の管理は勿論、笹内さんです。次回集会は、10月15日(金)午後7時半からの予定です。大垣教会設立を目指して一層のご加等とご協力を。

1976. 10. 2 通信より

- 12. 24 大垣伝道所クリスマス

1977年

- 1. 21 大垣伝道所集会

1978年

- 1. 29 定期会員総会
大垣伝道所に定住伝道者を迎えること、会堂改築など決議
- 2. 5 服部博神学生に大垣伝道所協力定住伝道者として招聘状を出す
- 6. 12 大垣伝道所へ 服部博神学生定住のため台所用品献金募る。19日までに多くの献品がありました。

服部 博先生のために台所用品などのご寄贈をお願いいたします。

大垣伝道所に来ていただく服部先生は、今月27日に神学校ご卒業、30日に秋山長老さんの車で

伝道所ご着任の予定です。その為、今まで留守を兼ねておき偉おきとして下さった笹内さんは今週土曜日に大垣市内のアパートに再度引越ししていただくことになっています。

ところで、新任の服部先生はまだ、独身です。ので、家庭道具が殆んどありません。ご結婚までご自炊をさせていただくこととなります。

もし皆さまの二家庭で不用にになりました台所用品、例えば、冷蔵庫・炊飯器・トースター・米びつ など、あるいは掃除器・机下駄箱・洗濯機・パイプ自動車(免許証はあてられます)などとご寄贈いただければ誠に感謝

でございます。年内教会までお届けいただくか、大きなものでしたらこちらからいただきに参りますから、お知らせ下さいませでしょうか(程度ヨロシキモノハ、私ノトコソリ交換シテカモ大垣伝道所ニ届ケルデゴザイマス)。

先生が現在お持ちのものをご参考までにお知らせいたします(西塚親華さんを通じて聞いていたまい)。

食器類(なべ、かまご)、ラジオ、扇風機、こたつ、たんす1個、ふとん(ソリッパ・デラロ、寝しマセンカラ)、電気スタンド 以上の通り相違ございません。

1978. 6. 12 通信より

【服部博協力牧師の時代(1978年-1982年)】

- 6. 27 神戸改革派神学校卒業式 (服部博)
- 6. 30 服部博協力定住伝道者として着

任 (大垣伝道所)

- 大垣伝道所会員夕食を共にしながら歓迎会
- 7. 2 服部博協力定住伝道者 (大垣伝

道所)として着任につき、岐阜加納教会、小会、執事会、歓迎昼食会をする。大垣伝道所に移籍となる岡田、元木、笹内 の3家族の皆さまの激励祈祷会をする

7.16 午後 服部博、協力定住伝道者就職式を執行(大垣伝道所担当)

中会特命委員 壺坂国三、諏訪武臣両教師、熊崎千尋長老 55年の岐阜加納教会史に、新しい1ページを加える感謝すべき出来事となる。

会員の異動 移籍 岡田 忠、定代、幸代(未)、めぐみ(未)、信夫(未)、元木昭男、順子、典子(未)、有紀(未)、笹内壽賀子、岐阜加納教会から大垣伝道所へ

9.17 大垣伝道所、第一回の聖餐式執行 司式：諏訪哲夫牧師

10. 1 転入式執行 服部博(大阪教会より)

10. 8 教会野外礼拝(加納・大垣合同) 場所：揖斐郡谷汲村いこいの森 主の日の礼拝に続いて昼食

その後、宝さがし、3時まで運動会(2人3脚、ちびっこゴロゴロ競争、なわとび競争、綱引き、バレーボール、バトミントン)など

11. 5 午後、臨時会員総会 出席80名 服部博を協力牧師として招聘することを可決 招聘委員より招聘状を送る

11.14 臨時中会 於 名古屋教会

教師任職式執行 服部博

11.26 服部博の協力牧師就職式執行(大垣伝道所担当)

中会特命委員 大山忠一、玉木 鎮、両教師 太田勝一長老

1979年

2.12 服部博、笹内壽賀子の結婚式を執行

2.18 夕礼拝 服部博協力牧師講壇奉仕(以後、毎月講壇交換)

説教：「聖なる神に信頼せよ」

諏訪哲夫牧師は大垣伝道所夕拝奉仕

5.20 大垣伝道所第1回特伝 出席21名 諏訪哲夫牧師大垣特伝奉仕

7. 8 洗礼式執行 成人洗礼 又吉ひとみ(大垣伝道所)

大垣伝道所初めての洗礼式
8日朝拝に前田喜久男さんが受洗されました。大垣伝道所では又吉ひとみさんの洗礼式が行なわれた筈です。おめでとうございます。ひとりの罪人が悔い改めると天、喜びがある。聖書にございます。なんと素晴らしいことでしょうか。お救い下さった神さまに心から感謝し、お名前を唱えます。また、前田さんと又吉さんの上に生涯 十字架の契りと励み、まことに豊かになるようにお祈りいたします。
1979.7.8 通信より

定期集会案内

- 毎日曜日 朝 礼 拝……………午前10時半
夕 礼 拝……………午後7時半
教 会 学 校……………午前9時半
- 毎水曜日 祈 禱 会……………午後7時半

※どの集会にも、ご自由に出席して下さいませう、心からお待ちいたしております。

聖書

「主を恐れる事は知識の初めである。愚か者は知恵と訓戒をさげすむ」(箴言1:7)

教理(ウェストミンスター信条小教理問答)

問：人生の主な目的は何であるか。

答：人生の主な目的は神の栄光をあらわし、永遠に神を喜ぶことである。

牧 師 服 部 博

大垣市笠縫町8-3 金森荘
TEL (0584) 74-0290

キリスト教伝道集会



木々の緑が目をごまかせてくれる季節となりました。此度、私共の教会では、初めての方にもわかるキリスト教の集會を計画致しました。お気軽においで下さいませう、御案内申し上げます。

□テーマ 『罪と滅びからの自由』

□日 時 5月20日(日) 午後7時

□場 所 日本キリスト
改 革 派 大 垣 伝 道 所
笠縫町東邦レーヨン裏 TEL (74) 0290

□講 師 諏訪哲夫 牧師

□プログラム内容

罪と滅びからの自由をテーマに、諏訪哲夫牧師をお招きし、キリスト教についてわかりやすく、しかも、人間の常に持つ滅びの不安からのまことの自由について話して頂きます。先生は、岐阜加納教会の牧師として、また、改革派教会の大会にて、中会にて、良い働きをなさっておられる先生です。

笠縫町時代の特別伝道集会のチラシ 1979年5月20日

- 10. 14 大垣伝道所：野外礼拝を実施(池田)
- 12. 30 大垣伝道所洗礼式執行 幼児
洗礼 元木真理

1980年

- 1. 2 新年祈祷会(加納・大垣合同)
- 6. 8 大垣伝道所特別伝道集会
場所：大垣商工会議所
説教：「われ戸の外に立ちてたたく」
諏訪哲夫牧師
- 12. 2 臨時中会 愛知県青少年会館
大垣伝道所土地購入援助金、他

1981年

- 1. 7 新年祈祷会 加納・大垣合同
奨励：服部博協力牧師
- 1. 30 大垣伝道所建設用地として大垣市島町字深田283番地 120.38坪(397.9

- 5㎡)8,185,840円で購入の契約を行う
- 3. 19 大垣伝道所用地 登記完了
120.38坪(397.95㎡)
- 4. 12 野外礼拝 木曾川畔 教会学校も参加 加納・大垣合同
野外礼拝の後、岐阜加納教会小会と大垣伝道所全会員の懇談会をする。
於：岐阜加納教会会堂
大垣と岐阜加納両教会の心の結びつきのため
 - ・5月から当分の間大垣伝道所は夕拝を加納で。
 - ・水曜日祈祷会毎月第一週、岐阜加納教会で守る
 - ・岐阜加納教会の全員が大垣伝道所の土地を見に行く適当な機会を作る。
- 5. 10 大垣伝道所特伝 奨励：猪股義男長老奉仕

本日から夕礼拝は大垣伝道所と合同で守られる 説教は諏訪哲夫牧師、服部博協力牧師交互です

11. 8 大垣伝道所特伝 講師：中根汎信教師

1982年

3. 21 臨時会員総会 服部博、呉・焼山伝道所へ転出のため3月31日付をもって岐阜加納教会協力牧師辞職願を

承認 出席98名

3. 28 朝礼拝 服部博協力牧師、お別れ説教 説教「苦難を超えて」

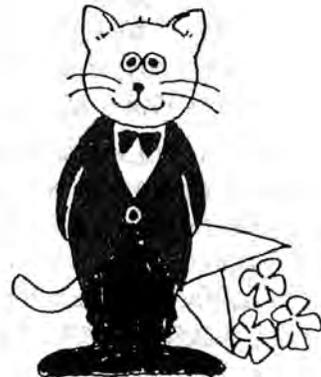
加納・大垣合同で礼拝 聖餐式執行 幼児洗礼 服部野百合

服部博一家の送別祈祷会を行う 送別会の席上で、会員の自由献金により記念品(腕時計)を贈る。小会と執事会で食事を共にしながらこれまでのお働きに感謝の意を表しました。

| | | | | |
|----|-------------------|--------------------|----------------------|----------------|
| 週報 | 1982・3・28 第13号 | 日本基督教改革派 岐阜加納教会 | 岐阜市加納鉄砲町2 牧師 諏訪哲夫 | TEL 71-7752 |
|----|-------------------|--------------------|----------------------|----------------|

朝の礼拝 10時30分
司会 猪股長老
長田幹姉

奏楽
招詞
罪の告白の勧告と祈禱
罪の赦しの宣言
頌栄 5 3 9
主の祈
ウ大教理問答 問 1 9 0
讃美歌 1 6
聖書 ルカの福音書 18:10~19
祈禱
幼児洗礼式
讃美歌 3 2 4
説教 「苦難をこえて」 服部牧師
祈禱
讃美歌 2 9 4
献金 感謝 木村執事
頌栄 5 4 4
祝 禱 諏訪牧師



服部 博先生お別れ礼拝の週報

4. 4 中村誠司長老、大垣伝道所礼拝奉仕 後任協力定住伝道者決定までつぎのように長老が輪番で奉仕
5/2 猪股 5/9 池沢 5/23 服部
5/30 尾野 6/6 佐野 6/13 長田
4. 11 イースター記念礼拝
午後 婦人会大垣土地融資返済のためのバザー開催(101,420円)
大垣伝道所開設につき土地購入のた

めの資金を、中会から200万円融資を受ける。その返済金調達のために行われる。今年から40万円ずつ5年間で返済予定。祈りのうちに会員の皆様に協力をお願いする。

4. 18 野外礼拝 一宮市光明寺 緑地サイクリングロード 教会学校
加納・大垣合同
4. 25 朝礼拝 遠山信和神学生奨励奉

仕 奨励：「生命の泉」

遠山信和神学生は大垣伝道所の後任協力定住伝道者の候補としてお招きし奨励奉仕をお願いしました。

- 5.16 臨時会員総会 遠山信和を協力定住伝道者として招聘することを

可決 出席89名

6. 6 会員の異動 転出 服部博、寿賀子、野百合(未) (呉焼山伝道所へ)
6.13 大垣伝道所、又吉ひとみ、沖縄へ帰郷のため送別祈祷会を行う

大垣伝道所での三年九ヶ月の思い出

服部博・寿賀子

大垣伝道所でのことを書いて下さいとの依頼の電話が元木さんから妻にあり、懐かしい声を聴いて原稿を引き受けた私たちは、自分たちのつたなさばかりを思い出しますが、しかし、にもかかわらず、主なる神さまの働きを思い出し、幸いなことでもあると思っています。妻とともに思い出しつつ書きました。

《赴任のこと》

神戸の神学校まで秋山さんがご自分の仕事の帰りだったのでしょか、車で迎えにきて下さり、私と荷物を大垣の伝道所までなんなく運んで下さいました。「服部先生は茶碗も箸もないんやから（献品して欲しい）」と秋山さんが教会の方々に説明されるのを聞いて、「そう言われれば、確かにないな」と、布団と本と衣類が少々でしたか。

《聖徒（会員）たち》

私が赴任したころの会員は、加納教会の大垣方面におられた岡田さんご一家（当時は幸代ちゃん、めぐちゃん、のぶくんと呼びました…徳島で古口先生から受洗された）と元木さんご一家（典ちゃん、有紀ちゃん、そしてまだ生まれていなかった真理ちゃん…岐阜の長良川の洪水のとき、西堀先生が泳いで、元木さん宅へ救出に行かれ、キリスト教に頑なだった奥さんはそのとき入信された）そして私と結婚をした寿賀子（旧姓・笹内）だけでした。その後、又吉ひとみさんが受洗されて会員となりました。しかし、加納教会から集会に、信徒の方々も伝道集会には伝道奉仕とまた聴衆として参加されていました。

《場所》

加納教会が大垣で開拓伝道をと決められた理由は吉良さん(温かくユーモアあふれる)ご夫妻が大垣駅の近くにおられてすでに家庭集会（中学生の方々が集まっていた）をなさって伝道をしておられたことがあったからです。しかし吉良さんご夫妻が転勤されたことから、その後を受けて継続して伝道をする必要上、集会所を急遽探さなくてはならなくなり、秋山長老や当時の西堀先生が探されたそうですが、大垣というところはキリスト教には理解がなくて、なかなか見つからず、駅南の繁華街とは反対の北西の、近鉄の北大垣駅から三分ほどの所の笠縫町に、…メインの道路から少し奥に入り込んでいましたが、築後間もない二軒長屋の東側が…見つかりました。家主の金森さんご夫婦は原始福音を信じておられたこともあり、自宅を特別伝道集会のために貸して下さるなど、私たちの伝道に何かと協力して下さいました。

良い家主さんに出会ったものです。金森さんご夫妻のことは今でも温かい思い出として残っています。また集会所の両隣の方々も、本当に人のいい方々でした。岡田さんからいただいた犬（ルカ）がかわいく、また賢く、隣近所の方々や行き帰りの子供たちから愛され、親善の役を果たしました。

《伝道のこと》

岐阜加納教会の所属伝道所としての出発であったこともあってか、岡田さんや元木さんは、自分の仕事でもたいへん忙しく、疲れておられたのに、伝道のための奉仕は大変熱心であったと思います。意欲的になさっておられました。大きな看板をたくさん作ったときも、てきぱきと熱心に活躍されていた姿を思い出します。また、元木さんは伝道集会の時のマイクの案内も恥ずかしがらずにしてくださいました。これはなかなかできないことです。とにかく、岡田さん、元木さんは元気で熱心でした。

《集会》

集会は主日の朝の礼拝と水曜の祈祷会、それと加納教会での夕拝でした。部屋に長いテーブルを矩形において、座布団にすわっての礼拝で、説教者の私は正座で、足がしびれて困ったことが思い出されます。オルガンは岡田姉がひいて下さいました。

礼拝出席には皆さん熱心でした。水曜の祈祷会も努力して出席しておられました。又吉さんは休むことなく、仕事で疲れて居眠りしつつも出席しておられました。大垣伝道所の方々の礼拝への熱心は本当に素晴らしいものだと思います。

《家庭集会》

岡田さんと元木さんのお宅で家庭集会をしました。それぞれの奥さんがご近所の友人の方々を誘って下さいました。

《ポスター貼り》

伝道所が町の中心から離れていることもあり、毎週、主日の説教題を書いたポスターを七十枚くらい作って、伝道所から町の中心部まで貼りました。自転車でちょうど三時間かかりました。いい運動でした。雨の日もやりました。日基の教会の長老に出会い、「教会の近くに貼るな」と言われたり（しかしそこが一番いい場所でした）しましたが、この方とは後の島町の会堂の土地探しのときに再び顔をあわせ、「教会のためによい土地を」と自分の事のように考えて下さりお世話になりました。

ポスターを見て、伝道所に来られた方はたった一人でした。

本田章さん。今は確か教団の岐阜教会に行かれています。

《個人的な体験》

私たちが結婚したのは、このときでした。私が赴任してきて、妻は笠縫の伝道所から引っ越して出て、結婚してまた入るということでした。また娘の野百合が生まれたのも、私の大垣時代でした。

《気候》

遠くに伊吹山が見える、夏暑く、冬寒いところです。日本海からの寒気がちょうど関

ヶ原のところに抜けて来て、冬には雪が必ずと言っていいほど降り、ひざくらいまで、積もることが普通でした。よく雪かきをしました。また山地に降った雨や雪が大垣に豊かな湧き水となって出るため、繊維産業が発達しました。

《伊達量平先生》

①伊達先生（当時87か88才）が、私の大垣三年目でしたか、（私の説教を聞いて、心配のあまりでしょう）伝道所の私のところまで、「あなたのところに行く」と言われてちゃんと背広にネクタイで、来て下さり、説教とはこういうふうにするんだと実地に教えて下さいました。またそれがよくわかること、わかること、びっくりし、またそれが当時の私には不思議なくらいためになりました。

- 一、子どもでもわかる話
- 二、ためになる話
- 三、有り難い話

これが説教作成の三要点だと。（説教が）よかっても、つまらない話はダメ、深く教えられないといかんと、そして教えられて生活に役立たないとダメだと。またキリストの福音が有り難くなくてどうすると。私は伊達先生を昔のおじいちゃん先生くらいに軽く考えていたのですが、いやいや、現在でもこれ以上立派な先生はいないのではないかと思うくらいです。

「いつでもどこでも説教ができる。たえず説教を二つ持っている。（説教の時、伊達先生は原稿なし、聖書一冊のみでした。全部記憶されていた）」と。先生の「人生の岐路では祈りに祈って進路を決める」という話や、戦中戦後の体験談を聞けば聞くほど驚くばかりでした。「キリスト者とはこんなにすばらしいものなのか！」と思ったものです。当時、キリスト者に半ば失望していたこともあり、そう思ったのです。

岐阜加納教会は当時の諏訪哲夫先生ばかりでなく、名誉牧師にもすばらしい先生がおられました。歴史のある教会は違いました。

②伊達先生は、伝道熱心でした。すでに引退されて二十年くらいであったと思いますが、「神さまが召された以上、神さまが伝道をやめよとおっしゃるまでは伝道をしなければならぬ」と言われていました。

私たちは大垣を転任することになりましたが、そのとき、伊達先生は私に大垣伝道のために祈って下さいとたのまれました。また次に来られる遠山先生のために祈るつもりだとも言うておられました。この自分の事を捨てて、伝道に打ち込まれている姿はちょうど、パウロがエペソ書の終わりで信徒たちに祈るように命じ、また自分のためにも祈って欲しいとたのんでいる姿と重なって、今の教会にも、昔の聖徒と同じ信仰があるのだと思わされます。また先生は伝道者として入門講座の話を三十ばかり記憶していると、そして練達しないと伝道はなかなか難しいと言われました。確かに、私たちにはキリストの福音（神の愛）という罪人に伝えるべきものがあり、召しがあるかぎり、伝道には希望がある。

はやく先生のように練達しなくてはと思っています。困難かもしれぬ大垣伝道にも希望があると、楽観的に思えるようになりました。

（大垣伝道所20周年記念誌より）

【遠山信和協力牧師の時代(1982年～91年)】

- 6.29 第32回神戸改革派神学校卒業式
遠山信和卒業
- 7. 1 遠山信和先生着任 卒業後すぐ岐阜着
- 7. 4 遠山信和先生一家の歓迎会を開く 加納・大垣と朝礼拝合同
青年の夕べ 着任後、最初の夕礼拝奨励奉仕
奨励：「神の民として歩む」 遠山信和先生 司会：内田孝
- 7. 5 臨時中会 於 名古屋教会

遠山信和の岐阜加納教会協力定住伝道者就職願他

- 7.18 今後、当分の間、夕礼拝を、大垣、岐阜加納合同で、岐阜加納教会で守ることになる。夕礼拝 第1、4、5の主の日は、説教諏訪哲夫牧師が奉仕 第1の主の日夕礼拝と第3の主の日朝礼拝に聖餐式を行うことにする。
- 8.15 遠山信和の協力定住伝道者就職式を執行 中会特命委員 増田孝、佐々木弘至両牧師、太田勝一長老 出席94名

大垣伝道所献金のための簡保加入についてお願い
 大垣のために簡易保険加入をお願い
 神の恵みと先達諸先生や主にある内外諸兄弟の祈りとご努力、両教会などによって恵まれて来た加納教会は、創設50周年(1973年)に当り記念事業の一つとして大垣市旭町に福音館を建てました。その翌年(1975年11月)、大垣市内の教会さんのお宅で伝道所がスタートしました。1978年に服部博先生と協力伝道所として迎へ、今回、遠山信和先生をお迎えしました。
 この間、大垣市島田に387㎡(約120坪)の教会用地を見入ることはできました。
 このように形で神さまにお用いいただけることは願わばいいです。歩みは遅々としていますが一歩一歩前進して来ました。今、私たちの切なる願いは、1日早く会堂兼牧師館を建て、遠山先生にここに住んでいただくことで本格的な伝道を始めたいです。神心に訴へ給わば、数年後に実現したいと願っています。
 このために私たちは、新しい祈りと共にさまざまな方法において建築資金を作りおぼせません。婦人会が、今年始めからバカンスに思いを馳せる機会を設けて下さることはご承知の通りです。今回、皆さまのご協力をお願いしている郵便局の簡易保険団体加入もその一つの方法です。
 幸い、小金の積立をいよいよお引き受け下さって責任者としてお任仕された猪股愛子さんが、同保険の案内で大変要領よく別紙にまとめて下さいました。同封させていただきます。次の主の日朝礼拝後、改めてご説明がございまして、予め目を通してお下さるようお願い申し上げます。
 1982. 8. 16 通信より

- 8.22 朝礼拝後 郵便局の簡易保険団体加入取扱いについて説明(責任者猪股愛子) 団体加入すると割引があり、その額を大垣伝道所建築資金に献げるとの説明
- 8.29 婦人会 大垣献金バザー開催 (282,495円)
- 9. 5 転入式執行 遠山信和、恵那教

- 会より 遠山百合子、野百合(未)、甲子園教会より(大垣伝道所へ)
- 10.10 洗礼式執行 成人洗礼：清水伸司(大垣伝道所)
- 10.15 遠山信和教師候補者教師試験全科合格

11. 3 秋のブロック別特別伝道集会

大垣と合同礼拝

11.14 臨時会員総会 遠山信和教師を

協力牧師として招聘することを可決

大垣と合同礼拝 臨時会員総会終

了後 大垣会堂建築および同資金調

達小会案についての第1回説明会そ

れに基づく懇談会

11.28 婦人会大垣献金のためバザー開

催 (収益95,004円)

12. 6-7 中部中会臨時会 於：尾西グ

リーンプラザ 遠山信和の教師任職

式が執行された

12.12 大垣伝道所建築資金計画につき

同委員会により全会員に説明会を行

う。

遠山信和教師の協力牧師就職式を

執行 中会特命委員 牧田吉和牧

師、諏訪武臣牧師、金井定男関キリ

スト教会長老

12.25 大垣伝道所特別伝道集会

於：商工会議所 映画と説教

4. 3 大垣伝道所の為の、婦人会バザ
ーを行う

4.17 教会学校進級感謝野外礼拝

場所：各務原公園 am11:00～

大垣伝道所の皆さんとともに

4.24 朝礼拝後、大垣伝道所会堂建築
に関する説明会

5. 8 加納教会、創立60周年記念礼拝
席上献金を、大垣伝道所会堂建築

のために捧げる

7. 3 岐阜加納、大垣合同青年の夕べ

奨励：遠山百合子「私の青年時代」

出席：大人80名、小人25名

9.25 臨時会員総会 議題：大垣伝道所
会堂建築予定地の造成工事計画最終

案承認

11.29 午後、大垣伝道所会堂建築のた
めの婦人会による、バザーを行う(売

上 114,399円)

12.18 朝礼拝後、大垣伝道所会堂建築
説明会を持つ

1983年

1. 本年は毎月第2聖日の夕拝を、岐
阜加納教会、大垣伝道所の合同礼拝
として、説教は、諏訪哲夫牧師、遠
山信和協力牧師が交代で行い、第3
聖日、朝拝説教を、諏訪哲夫牧師、
遠山信和協力牧師がそれぞれ交替に
て行う。また、交わりのために毎月
長老1名が、諏訪哲夫牧師に同行す
る。

1983年度 役員・諸委員一覧表

【大垣委員会】 委員長・猪股義男
委員・秋山 隆、池沢松治、中村誠
司 (以上、資金)、長田 等 (会計
・建築)、尾野逸郎 (建築)、遠山信
和、諏訪哲夫

【大垣伝道所委員】

書記：清水伸司 会計：元木順子

1984年

1. 1 洗礼式執行 幼児洗礼 遠山
献 (遠山信和協力牧師長男) (大垣
伝道所)
- 4.16 大垣伝道所会堂起工式
- 4.29 野外礼拝 場所：養老こども
の国 加納、大垣合同にて 出席：
127名 (大人79、小人48) 帰りに、
大垣伝道所建築現場見学
5. 6 臨時会員総会 大垣伝道所会堂
建築追加工事 並びにこれに伴う資
金計画の件
7. 1 青年の夕べ (加納、大垣合同)
説教：「クリスチャンホームの恵み」
遠山信和協力牧師 司会：高橋和
重
- 7.22 加納教会と大垣伝道所と合同礼
拝 午後、婦人会に依る、大垣会堂
建築の為の大バザー開催 (215,112

- 円)
8. 24-26 青年会修養会 会場：グリーン
 ハイ츠養老 及び 岐阜加納教会
 会堂 主題：中部中会設立25周年記
 念宣言について 午後、完成間近の
 大垣伝道所新会堂を見学に行く
8. 28 大垣伝道所会堂完成、遠山信和
 協力牧師一家 新牧師館に引っ越し
9. 2 本日より、大垣伝道所 新会堂

- にて礼拝が守られる
- 朝礼拝：尾野逸良長老 奨励奉仕
 奨励：「罪人の私を憐れんで下さ
 い」
- 夕礼拝：服部克己長老 奨励奉仕
 奨励：「原点に戻る」
9. 9 佐野博一長老、大垣伝道所朝礼
 拝奨励奉仕

大垣伝道所 献堂感謝

私たちの長年の祈りと念願がかない、主は
 小さいながらも立派な会堂をお与え下さ
 いました。そして10日、この建物が福音宣教
 と礼拝の器として聖く用いられるように感
 謝と喜びの内に主にお捧げしました。

当日、11名の中会の先生方のご出席、
 4名の先生からの祝電もしくは祝文、他中
 会の5名の先生からの祝電又は祝文、更に
 長老、執事、信徒の皆様多数のご出席を頂
 きました。この他、他教派の3名の先生
 のご主席や2教会からの祝電もございました。
 当日ご出席下さった先生や、各教会から
 のご献金だけでも、合計 166,000円あり、そ
 の他花台、時計、書物、机、椅子、ポット
 等多数のお祝い品も頂きました。

こんなに沢山の教会や先生方からの祝福

を受けて献堂式を挙行できたことを本当に
 感謝致します。今後は、これら皆様のご期
 待に応えるためにも懸命に主に仕えなけれ
 ばなりません。

当日の出席は大人約100名、小人約15名の
 大勢でした。 感謝！。

大垣の皆様初め、多くの皆様のご奉仕あ
 りがとうございました。

1984. 10. 15 通信より



〔島町での伝道① 遠山信和協力牧師時代(1984年10月10日～1991年6月30日)〕

1984年度の大垣伝道所の年報に記録されている定期集会平均出席者数は次のとおりである。朝拝(14名)、夕拝(8名)、祈祷会(7名) これらの数字はいずれの集会も昨年を上回る数字である。1985年度の年報に遠山牧師はこの時期の大垣伝道所について次のように記している。「今年度も、教会の基礎形成期として教会員がしっかりした土台の上に立つことを重点に置きます。すなわち岩の上に建てられた家のように、キリストを土台とした人生、聖書を規範として神中心の教会形成を目指して行きます。本年度より次の目標を持って主の使命に応えて行くことが決まりました。

- 一、12年間で経済的独立を達成する
- 二、このため、年間2～3名以上の受洗者が与えられるために祈り、労する。

「決まりました」というこの二つの目標は、大垣の委員会で決まったものなのか、それとも加納教会の小会で決まったものなのかはわからない。大垣の会堂での伝道はこのような高い目標の元に始まったのである。ただ12年間、年間2～3名という数字の根拠が明白ではないので、この目標が牧師、会員に重荷になったのか、励みになったのかもわからない。1985年から数えて12年ということは、1997年ということになる。この目標に従えば、大垣伝道所は1997年つまりあと2年で教会独立を達成することを求められているのである。

遠山教師は1991年に加納教会協力牧師を辞職し、同じ年に中部中会の恵那教会の牧師に就職した。遠山教師は約9年間大垣伝道所で伝道したことになる。過去の年報で遠山牧師時代の伝道所の歩みを読むならば、誰もが主に従う忠実な教会の歩みを見出すであろう。

(大垣伝道所20周年記念誌より)

10.10 大垣伝道所会堂献堂式 午後1時～3時 来賓、他中会、他教会、岐阜加納教会等から大人約100名、小人15名出席



1985年 「みことばへの聴従」

1. 1 元旦礼拝
1. 6 大垣伝道所会堂建築の為の融資

を募る 1口：50,000円 融資期間：半年又は1年

- 1.13 全体懇談会 (2/10、2/17、5/10、6/9)
- 1.27 加納教会・大垣伝道所と合同礼拝
4. 7 イースター礼拝
- 4.28 岐阜加納教会 教会学校、大垣伝道所と合同にて野外礼拝 場所：岐阜ファミリーパークにて
5. 5～6 壮年会一泊懇親会
7. 7 伝道映画会(14日、20日)18～22名
- 7.21 特別伝道集会「福音の原点」壺坂国三牧師(関教会)(25名)
8. 3～4 夏期修養会(大垣教会)「これからの大垣教会」(14名)
8. 4 遠山信和協力牧師 岐阜加納教会、大垣合同朝礼拝奉仕 説教：「天に宝を」
- 12.22 クリスマス礼拝、祝会
- 12.24 市民クリスマス、キャンドルサーベイス伝道集会 メッセージ：遠山信和協力牧師(43名)

1986年大垣伝道所年報より **定期集会**

主の日礼拝 毎日曜日10:30(朝拝)、19:30(夕拝)
聖餐式 毎月第3日曜日の礼拝時

祈祷会 毎月第4・5水曜日19:30
 求道者会 第2を除く毎日曜日朝拝後
 (10月～)
 聖書の学び会 毎木曜日午前10時(～4
 月)
 家庭集会 毎月第2木曜19:30(元木宅)
 (～9月)
 毎月第1・3水曜日19:30(元木
 宅)(10月～)
 全体懇談会 毎月第2日曜日朝拝後
 例会懇談会 毎月第3日曜日午後

1986年 「神中心の生活」

1. 1 洗礼式執行 遠山泉(大垣伝道
所)(遠山信和、百合子夫妻次女)
1. 15 全体懇談会(以後毎月開催)
3. 30 イースター礼拝 午後、大垣会
堂資金のため、婦人会主催バザーの
開催 純益金88,540円を捧げる
4. 27 野外礼拝(各務原公園)
5. 25 婦人会主催バザー開催 大垣会
堂資金のため 純益を献金(42,006
円)
6. 8 特別伝道集会(西堀則男牧師)
8. 15 夏期修養会「クリスチャン生活
を問う」(渡辺病院)
8. 24 婦人会主催バザー開催 大垣会

堂建築資金のため、純益金額、113,
545円を献金

9. 7 成人洗礼式執行:山田義直
9. 12 会員の異動 又吉ひとみ 現住
陪餐より他住へ
10. 10 研修映画会「キリストの生涯」(大
垣文化会館)
10. 12 特別伝道集会
12. 7 市民クリスマス(大垣市総合福
祉会館)
12. 21 クリスマス礼拝、祝会
12. 24 キャンドルサービス
12. 28 大垣会堂資金計画は、本年末を
持って必要額が満たされ完了しまし
た。主と、皆様に感謝!感謝!

1987年 「主のもとにやすらう」

1. 1 洗礼式を執行 幼児洗礼 遠山
愛(大垣伝道所)
2. 15 大垣伝道所へ移籍した吉田晃啓
長老一家の歓迎会を行う
2. 15 全体懇談会「集会について」
→ 朝の礼拝開始 10:30→10:45
この年も、毎月第3日曜日に全体懇談
会を行う(2, 3, 4, 6, 9, 11月)。
3. 7 会員の移籍 吉田晃啓、豊子(未
崇・忍) 大垣伝道所へ



- 4.12 壮年会 午後、親睦と励ましの
ため大垣伝道所を訪問
- 4.19 イースター礼拝
- 5. 3～ 4 壮年会一泊懇親会（長良川
ハイツ、金華山登山）
- 5.17 特別伝道集会（23名）
- 7.25 夏休み子供集会「映画ーノアの
箱舟」
- 8. 2 夏休み子供集会「映画ーダビデ
とゴリアテ」
- 8.14～15 夏期修養会「教会の成長」（羽
島簡保保険センター）
- 10.24～25 秋の特別伝道集会「生きる
喜びを求めて」入船尊教師（32名、
33名）
チラシ：24,000枚、ポスター60枚
- 12.20 クリスマス礼拝、成人洗礼式執
行 菊池英美子
- 12.27 冬休み子供集会

1988年大垣伝道所年報より

これからの伝道

昨年は、教会員が一つとなって、主の業に励む喜びを持つことが出来ました。契約の子供たちも熱心に協力して、伝道集会、夏季修養会、などを行うことが出来ました。

これからも、全員が一丸となって伝道に当たることを心がけましょう。今年のクリスマス礼拝には、元木兄に証をしていただきましたが、証の機会も持ちたいと思います。皆で伝道のビジョンを語り合う機会なども設けたい。入門講座のテープを再録したいなど、これからの伝道の可能性を考え、広げて行きたいと思います。

また、伝道は、伝道集会などの特別な集会だけでなく、掃除、受付、あいさつ、日常の生活のすべてが伝道につながります。神を神とする生活、聖書を読み、祈り、あらゆることに感謝をささげることができるように、私たちの信仰が働きを伴う生きた信仰として成長できるように、祈り求めてまいりましょう。「あなたがたは、食べる

にも、飲むにも、何をするにも、ただ神の栄光を現すためにしなさい。」（I コリント 10:31）

伝道の目標、ビジョン

これからの大垣教会の伝道において、以下のことを目標として励みましょう。

- (1) 今世紀までに経済的独立と教会設立を目指す。
- (2) このために年間2～3名の受洗者を獲得する。
- (3) 岐阜加納教会からの援助金を、以下のように減額する。

| | |
|-------------|----------|
| 1988年度 | 50万円減額 |
| 1989～1996年度 | 毎年15万円減額 |
| 1997～1999年度 | 毎年20万円減額 |

1988年 「神の国を仰ぎつつ歩もう」

確かな目標を目指して（ピリピ3:14）

- 3.13 特別集会「人生を変える力」遠山信和協力牧師
- 4. 3 イースター礼拝
成人洗礼式執行 表 和美
- 4.10 特別集会「救い主を受け入れる喜び」有吉教師（那加教会）
- 4.17 野外礼拝（大垣と合同）
於：岐阜ファミリーパーク
- 5. 2～ 3 壮年会一泊懇親会（長良川ハイツ）
- 5. 8 春の特別伝道集会「生きる喜び」
諏訪哲夫牧師（19名）
- 6.12 特別集会「君は生きているか」
遠山信和協力牧師（19名）
- 6.18～19 夏期修養会「改革派教会の
伝統と展望」（アメニティ養老）
- 7.10 特別集会「イエスの祈り」武内
紀義教師
- 8.21 岐阜加納、大垣合同礼拝
朝夕礼拝 遠山信和協力牧師説教奉仕
説教：朝「人となった言葉」
夕「万軍の主」
- 8.27～28 夏休み子供集会（46名、24名）
- 9.11 全体懇談会「特別伝道集会の計

画について」

- 9.18 加納・大垣合同婦人会 大垣伝道所にて合同例会をもつ
- 10.30 秋の特別伝道集会「機会をとらえよう」小野静雄教師(22名)
- 12.18 クリスマス家庭夕拝(吉田宅)
- 12.24 みんなで祝うクリスマス集会(35名)、キャンドルサービス(35名)
- 12.25 クリスマス礼拝、愛餐会、祝会(27名) 洗礼式、信仰告白式執行
幼児洗礼 遠山 純
信仰告白 元木典子

1989年大垣伝道所年報より

定例集会

- 朝の礼拝 毎週日曜日 10:45
夕の礼拝 毎週日曜日 18:30
聖餐式 第1日曜日 朝の礼拝時
教会学校 毎週日曜日 9:30
祈禱会 毎週水曜日 19:45

1989年 「戦いつつきずこう…

主にある教会成長をめざして」

1. 1 元旦礼拝
2. 26 諏訪哲夫牧師 大垣伝道所夕礼拝説教奉仕 毎月第4主日の夕拝を、那加、太田、大垣、岐阜加納、4教会の講壇交換日として他教会の先生に説教奉仕をして頂くことになる
4. 2 子供集会
4. 30 春の特別伝道集会(1) 「信じて救われる人生」小野静雄教師
5. 3~ 4 一泊懇親会(長良川会館)
5. 7 春の特別伝道集会(2) 「永遠の宝」遠山信和協力牧師
5. 14 春の特別伝道集会(3) 「神の愛」遠山良作長老
8. 6 夏休み子供集会
9. 24 加納教会婦人会、大垣伝道所にて、合同例会 奨励:「聖書における男と女」 遠山信和協力牧師

10. 21~22 秋の特別伝道集会「あなたを生かすこの慰め」、「あなたを生かす神の言葉」牧田吉和教師
11. 3 犬山、那加、大垣、岐阜加納四教会の合同壮年会 於: 那加教会
11. 5, 12 全体懇談会「大垣教会のビジョンと来年度の計画について」
12. 16 クリスマス子供集会 大人10名、子供50名、計60名
12. 23 クリスマス特別集会
12. 24 クリスマス礼拝、祝会、信仰告白式執行 信仰告白 元木有紀

1990年大垣伝道所年報より

めざす大垣教会の姿

- * 神の栄光を現す教会の形成
- * 改革派神学を継承する教会の形成
- * みことばによって常に自らを改革し続けて行く教会の形成
- * 主にあつてともに生きる教会の形成
- * 神の契約の真実を見すえ、未来の希望に生きる教会の形成

具体的な教会活動

1. 文化講座開設(毎週日曜日午後2時) 2, 3, 4週は文化会館、後は教会で。
2. 聖書を読む会開設(毎週日曜日午後6時30分) 夕の礼拝に代えて行う。

1990年 「使徒的教会への前進」

1. 1 元旦礼拝
1. 14 文化講座(聖書を学ぶ会)開始(大垣市文化会館)
3. 24 春の子供集会
4. 8 教会学校教師就任式(元木典子姉、元木有紀姉)
4. 15 イースター礼拝
5. 5 森一雄、岡田幸代結婚式(岐阜加納教会)
5. 6 退会 菊池英美子(日本同盟基督教団 新潟福音教会へ)
5. 20 転入式執行 土居真理子(津島伝道所より)

- 6. 9～10 春の特別伝道集会「こころに目を向ける教会」、「いのちは重たいもの」遠山信和協力牧師
- 6.17 親睦会（長良川ハイツ）
- 7. 1 協力牧師招聘のための説明会を開催（第1回）

- 7.21 夏休み子供集会
- 8.25～26 映画会「塩狩峠」（大垣教会、大垣市文化会館）
- 8.26 土居真理子姉送別会
- 9.16 協力牧師招聘のための説明会を開催（第2回）

9月16日会員懇談会内容

去る、7月1日の第一回会員懇談会において小会及び諏訪哲夫牧師の希望意見として、以下のことが、明らかにされました。

- ① 小峯 明 教師候補者を、来年7月神学校卒業と同時に岐阜加納教会の協力定住伝道者として迎えること。
- ② 諏訪哲夫牧師の引退時期については小峯 明先生着任後の状況によって変わる可能性が在りますが、諏訪哲夫牧師の希望としては1992年後半であること。
- ③ 引退後は岐阜加納教会が、小峯 明先生の下に主に在って一致結束し、且つ、小峯 明先生の賜物が伝道牧事に十分生かされる為に、諏訪哲夫

牧師は中会内の、他の適当な教会に出席する。

以上のことと関連して、皆様にはそれぞれ、意見やご希望、あるいはご心配がお在りと思います。

今日の懇談会は、それらを十分お聞かせ頂いて互いに理解を深め、出来るだけ合意を得たいと考えています。

スケジュール

- 12:00～12:30 昼食
- 12:40～13:20 全体集会 司会 佐野博一長老
- 13:30～15:20 ブロック別懇談会
 - 北東 教育館2F 司会 稲垣 弘長老
 - 北西 幼児礼拝室 司会 中村誠司長老
 - 南 教育館1F 司会 住 豊長老
- 15:30～16:30 全体集会 司会 佐野博一長老

- 9.23 来年7月に、岐阜加納教会の協力定住伝道者として招聘予定の小峯明神学生に、10月より、毎月第一主の日の礼拝に出席して頂く事になる。また、隔月の朝礼拝の奨励をお願いする。夫人も、事情の許す限り

一緒に来て頂く事になる。

- 10.21 大垣伝道所会員と小会代表との懇談会を開催「大垣教会の教会形成と来年度の行事計画について」
- 10.28 全体懇談会「大垣教会の教会形成と来年度の行事計画について」

小会と大垣伝道所懇談会

加納教会小会と大垣伝道所の懇談会は去る21日午後6時から約3時間半、大垣伝道所において行なわれました。

今後の大垣伝道所について率直な意見を交わし、真剣な話し合いをしました。その結果、遠山先生ご夫妻も大垣伝道所会員の皆さんも決意を新たに、希望を持って一層伝道に励んで下さることになりました。主のお導きを感謝しています。

岐阜加納教会の会員の皆さんもこの事を覚えて、大垣伝道所のために共に励んで今後も祈りあって行きましょう。

1990. 10. 28週報より



岐阜加納教会所属大垣伝道所
会堂スケッチ

11. 2-3 青年会修養会（大垣と合同）
主題「礼拝の充実」テキスト「豊かな教会生活を目指して」（金田幸男著）
11. 17~18 秋の特別伝道集会「キリストとの出会いがあなたを変える」、
「あなたの喜びは何ですか」（中根汎信教師）
12. 9 みんなで祝うクリスマス会（大垣市文化会館）
12. 16 クリスマス礼拝、祝会、洗礼式、
信仰告白式執行
成人洗礼 野村仁美
信仰告白 岡田めぐみ、吉田 崇

1991年大垣伝道所年報より

大垣教会の伝道 伸びている教会に 共通していること

- ①教会成長は神のわざであることを確信していること。
- ②内的成長（礼拝、祈り、讃美の充実など）を第一に心がけていること。
- ③教会教育のプログラムを持っていること。
- ④成長しようという祈りと願いを持つ

ていること。

- ⑤教会が成長できる構造や機能をもっていること。

将来の展望と決意

- ①常に教会成長を願う教会を目指す。
- ②地域に根ざし、地域に仕え、地域が必要とする教会を目指す。
- ③青少年伝道、家族伝道の促進を目指す。
- ④内外の諸教会との交わりと協力を目指す。

1991年 「原点からの出発」

1. 1 元旦礼拝
1. 27 定期会員総会 小峯明神学生の
岐阜加納教会定住伝道者招聘を決議
2. 10 伝道礼拝
3. 3 朝礼拝 大垣と合同礼拝
大垣伝道所会員と、小会との懇談会を開催
3. 10 伝道礼拝（証：岡田めぐみ姉）
3. 31 イースター礼拝、春休み子供集会
4. 14 野外礼拝（大垣と合同）

- 場所：岐阜ファミリーパーク
- 4.21 伝道礼拝（証：元木典子姉）
5. 2～3 壮年会一泊懇談会「キリストの教会を建てる」（長良川ハイツ）
- 5.12 伝道礼拝（証：野村仁美姉）
- 5.26 大垣伝道所 臨時会員総会
遠山信和教師の協力牧師辞職に関する件

6. 9 春の特別伝道集会 片岡正雄教師
朝：「あなたを生かして下さるお方」
午後：伝道についての学び会「伝道と教会成長」
- 6.23 遠山信和協力牧師一家の送別会
転出：遠山信和、百合子、（以下未陪餐）野百合、献、泉、愛、純

大垣伝道所の思い出

遠山信和

大垣教会創立二十周年おめでとうございます。この二十年の内、私が岐阜加納教会の協力牧師として大垣で働いたのが九年余りですから、私が在任期間の一番長い牧師ということになるでしょうか。神様がこの素晴らしい教会で働くように導いて下さったことを心より感謝しています。

大垣教会は、岐阜加納教会の皆様の熱い祈りと伝道への献身から生み出されてきた教会ですが、私が赴任した時には、すでに岡田さんご一家、元木さんご一家が主によって大垣教会の群れに加えられていました。

笠縫町の借家での集会は、六畳と八畳の部屋でしたから、日曜日になると布団を片付けて、折りたたみ机と座布団を敷いて行うものでしたが、岡田定代姉の奏楽を聞きながら行った礼拝は、初代教会もこのような家庭で行われたのであろうという思いを与えられた感慨深い集会でした。

会員の方々が、教会学校、朝拝、夕拝、祈禱会と家族揃って出席して下さり、神学校を出たばかりの若い牧師の説教を熱心に聞いて下さる皆様のお姿によって、私自身育てていただいたという感謝の気持ちで一杯です。

やがて、大垣教会の会堂を建築しようということになり、かねてより購入されていた島町の土地に、岐阜加納教会の皆様の大きな支援をもいただいて待望の教会堂が献堂されました。この会堂建築に際しては、亡くなられた猪股義男長老をはじめ、小会の方々のご尽力をいただきました。大垣の地にこのように教会を形成し福音を宣教する拠点を与えられたことは大きな喜びでした。

このように書いてくると嬉しいことばかりであったように思われるかも知れませんが、悲しいこと辛いこともありました。教会の周囲の住宅地に「トラクト」や「教会便り」を配りに行ったある時には、玄関でブザーを鳴らして渡そうとするといきなり戸を閉められたり、「ヤソは出て行ってくれ」と言われたこともありました。異教の地で福音を伝えることは、いろいろな意味で困難があることを痛感させられました。

「大垣教会の特色は何ですか」と尋ねられるならば、「それは全員で教会を形成して行こうとするところにあります。」と答えることが出来るでしょう。これは岐阜の吉田長老ご一家が来られてからも変わることはありませんでした。教会員のみならず、その子供たちも皆が教会のために奉仕をし、伝道集会の時や文化会館で行った「文化講座」の案内チラシを皆で配布しました。聖餐式の時、一枚のパンを皆で分けていただいた時にも、主イエス・キリストが私たちを主にあって結び合わせて下さっているという思いを新たにさせられました。

私たちのために血を流して下さったキリストを知らされ、神の前にまことに小さな者がどんなに神によって愛され尊ばれているかということを知られる時、主の愛によって私たちは変えられていきます。つたない説教ではありましたが、準備をする私自身が御言葉によって変えられ、励まされ、慰められてきたことを思い起こします。

さらに、右も左も分からない私のようなものために神様が備えて下さったプレゼントは諏訪哲夫先生です。諏訪先生からは、説教について教えていただいた事もありますが、言葉だけでなく岐阜加納教会の牧師としての実践活動を通して多くのことを教えられました。それは、長男の徹兄をして「うちの両親はいつも教会のことを第一に考え、一生懸命に働いている」と言わしめたような生活でした。家族で訪ねて行って、よく食事をご馳走になりましたが、先生の焼いて下さったおにぎりの味は忘れられません。

最後になりましたが、大垣教会、そして岐阜加納教会の群れを起し、これを今日までお導き下さった神様が、これからも豊かに両教会を祝福して下さいますように、長井先生、小峯先生のお働きが祝福されて主の栄光が豊かに現されますようにお祈りいたします。

感謝をもって。

(大垣伝道所20周年記念誌より)

〔島町での伝道② 小峯明協力牧師時代(1991年7月4日～1992年3月18日)〕

〔島町での伝道③ 諏訪哲夫牧師時代(1992年3月18日～1993年6月30日)〕

遠山教師が大垣を去った後、小峯 明教師が大垣に赴任した。

1991年の7月のことである。小峯教師の大垣での伝道は短く約8ヶ月であった。小峯教師は大垣伝道所が所属する岐阜加納教会で伝道牧会に携わることになり、長年、岐阜加納教会で牧師として働いてこられた諏訪哲夫教師が大垣伝道所に赴任した。1992年の3月に小峯教師と諏訪教師の住居交換が行われた。

諏訪哲夫教師は1993年の6月まで大垣の伝道に携わった。約1年と3ヶ月である。

(大垣伝道所20周年記念誌より)

7. 4 小峯明先生 大垣伝道所着任

岐阜加納教会協力定住伝道者として

7. 7 岐阜加納、大垣伝道所との合同

礼拝 小峯明先生夫妻の歓迎会を開催

小峯 明先生 着任歓迎会
小峯 明先生 神学校卒業おめでとうございます。私たち 大垣、岐阜加納の会員一同、主にあつて衷心より歓迎申し上げます。とてもうれしいです。
7月9日・臨時中会において、先生の「岐阜加納教会協力定住者就職願」が受け入れられる予定です。
朝礼拝に続いて、小峯 明先生ご夫妻の歓迎会を行います。この歓迎のときを求道者の方も交え全員で出席し、共に過ごしましょう。
会費は、中学生以上 300円
尚、辻 正敏兄の送別会も兼ねます。
1991. 7. 7 週報より

- 7. 9 臨時中会 於：名古屋教会
小峯明教師候補者「岐阜加納教会協力
定住伝道者就職願」満場一致
- 7.14 会員懇談会
- 7.21 大垣伝道所懇談会（加納教会）
- 8. 4 加納・大垣合同礼拝（加納教会）
- 8.11 朝礼拝を大垣伝道所、岐阜加納
教会との講壇交換とする（以後、毎
月第2主日に実施）、会員親睦バー
ベキュー大会
- 8.25 転入式執行 夕礼拝にて
小峯明、小峯真奈美（江古田教会よ
り大垣伝道所へ）
- 9. 1 加納・大垣合同礼拝、
転出 土居眞理子（高知教会へ）
- 10. 3 教師試験 小峯明 教師試験受
験 全科目合格
- 10. 9～10 加納・大垣婦人会一泊修養
会「キリストの教会を建てる」諏訪
哲夫牧師（JR共済保養所ながら荘）
- 10.13 秋の子供集会（24名）
- 10.20 午後、岐阜加納、大垣、合同青
年会 会場：大垣伝道所
- 11. 3～ 4 加納、大垣合同青年会修養
会 会場：国民宿舍梅丈ロッジ（福
井県三方町）
主題：「キリストの教会を建てる」



1991. 11. 3 青年会修養会
大垣と合同三方梅丈ロッジ

- 11. 6 伝道祈祷会開始
- 11.17 大垣伝道所特伝
（午前）会場：大垣伝道所（24名）
説教：「ただ一つの慰め」

（午後）会場：大垣文化会館（44名）
説教：「ただ一つの望み」
講師：石丸新牧師

- 11.24 岐阜加納、大垣伝道所、合同臨
時会員総会 小峯明教師を協力牧師
として招聘の件
総会后、大垣、岐阜加納、合同の
懇談会を開催 諏訪哲夫牧師、小峯
明先生の住居交替の件

**臨時会員総会並びに
小峯 明先生協力牧師就職式
臨時会員総会**

日時：11月24日（日）13:00～14:00

会場：岐阜加納教会礼拝堂

議題：「協力牧師招聘の件」

※加納・大垣教会合同で行います。

今回、教師試験に合格され、来る12月2
日の臨時中会で教師に任職される、小峯先
生を、続いて加納教会協力牧師として招聘
することを決議します。

規則上は加納52名、大垣 5名で総会は成
立します。しかし、牧師招聘が議題ですか
ら、少なくとも両教会合わせて90名の出席
を願います。

- 12. 2 臨時中会 会場：尾西グリーン
プラザ

議題：小峯明、教師任職願、岐阜加納
教会協力牧師就職願 他

- 12. 8 小峯明教師の岐阜加納教会協力
牧師就職式が執り行われる 中会特
命委員 玉木 鎮、三谷至男 両牧
師 太田勝一長老
- 12.15 大垣、岐阜加納講壇交換
- 12.21 クリスマス子供集会（41名）
- 12.22 クリスマスミニ特伝、愛餐会、
賛美礼拝、吉田家の送別会
- 12.22 青年会大垣伝道所青年会と合同
クリスマス会 小峯明協力牧師、真
奈美夫妻も出席 参加：27名

1992年大垣伝道所年報より **定期集会**

朝の礼拝 毎日曜日 am10:30
 聖書セミナー 第2, 3, 4, 5 日曜日
 pm2:00 (大垣市文化会館)
 聖餐式 第2日曜日 朝の礼拝時
 教会学校 毎日曜日 am9:30
 祈 禱 会 毎水曜日 pm7:45

1992年 「原点からの出発」

1. 1 元旦礼拝

会員の移籍 吉田晃啓、吉田豊子、
 吉田 崇、吉田 忍(未) 大垣伝道
 所より岐阜加納教会へ移籍

2月小会決議事項

牧師館修理と牧師住居交替日、及びこれに伴う礼拝・祈禱会変更等を2月の小会で以下のように決議しました。

- (1) 2/28~3/10 牧師館修理
 - (2) 3/18(水) 牧師住居同時交替
 - (3) 礼拝・祈禱会変更
 - 3/1 朝 拝⇒加・大 講壇交換
 夕 拝⇒両教会とも休み
 - 4(水) 祈禱会⇒両教会とも休み
 - 8(日) 朝 拝⇒加・大 講壇交換
 夕 拝⇒両教会とも休み
 - 11(水) 祈禱会⇒平常通り実施
 - 15(日) 朝 拝⇒平常通り(お別れ礼拝)
 夕 拝⇒両教会とも休み
 - 18(水) 祈禱会⇒両教会とも休み
 (引越し日)
1992. 2. 9週報より

- 3. 1 諏訪哲夫牧師、小峯明協力牧師の住居交替準備のため、夕礼拝(3月1日、8日、15日)、祈禱会(3月4日、11日、18日)を、休会とする。
 大垣、岐阜加納講壇交換(次週も)

諏訪哲夫牧師 お別れ説教、感謝 祈禱会
 諏訪哲夫牧師は、岐阜加納教会牧師として31年余り奉仕され、18日に、大垣伝道所の小峯 明先生と住居の交替をされる事になりました。

15日の朝礼拝説教が一応最後の奉仕になりました。久しぶりの方々や、大勢の皆様が出席され、礼拝後、猪股義男長老の司会によって感謝祈禱会が行われました。

1992. 3. 8. 15の週報より

- 3. 18 諏訪哲夫牧師、玲子夫妻、大垣伝道所へ、小峯明協力牧師、真奈美夫妻 岐阜加納教会へ、住居の交替を行う
- 3. 22 諏訪哲夫牧師御夫妻歓迎会



- 4. 5 諏訪哲夫牧師、小峯明協力牧師の住居交替に伴い、両牧師夫妻の信徒籍を移籍
 諏訪哲夫牧師、諏訪玲子
 岐阜加納教会より大垣伝道所へ

- 小峯明協力牧師、小峯真奈美
大垣伝道所より岐阜加納教会へ
- 4.12 全員懇談会
 - 4.19 イースター礼拝
 - 5.10 加入式執行 宮川富代（同盟福音 大垣キリスト教会より）
 - 5.17 宮川姉歓迎野外礼拝（木曾三川公園）
 - 6.13～16 駐車場の舗装工事、会堂の空調工事、垣根の刈り込み完了
 7. 5 諏訪哲夫牧師 金沢伝道所特伝奉仕、大垣伝道所朝礼拝 吉田晃啓 長老奨励奉仕
 8. 8～ 9 夏期修養会（会堂）
 - 8.23 夏休み子供会 映画「幸せの王子」、工作（子供25名）
 - 9.20 加納・大垣合同婦人会（大垣）
 - 10.24～25 秋の特別伝道集会「あなたを生かすこの愛」、「あなたを生かすこの希望」 牧田吉和教師
 - 10.25 加納教会小会との懇談会
 11. 1 大垣会堂建築献金のための簡易保険 団体取扱 本年末にて終了の旨、会員に報告
 - 11.20～21 加納・大垣合同青年会修養会（尾西グリーンプラザ）
 - 11.22 大垣伝道所協力定住伝道者としての招聘予定者 長井正人神学生をお招きして朝礼拝、奨励奉仕をして頂く
奨励：「信仰によるへりくだり」
午後、長井正人神学生一家と、小会とて食事を共にしながら懇談
 - 12.20 クリスマス礼拝、信仰告白式執行 岡田信夫
 - 12.20 加納・大垣合同青年会クリスマス会（岐阜加納教会）
 - 12.24 親子で祝うクリスマス 説教、劇「靴屋のマルチン」、ハンドベル「サイレント・ナイト」（大人30名、子供28名、計58名）

1993年 「原点からの出発」

1. 1 元旦礼拝
- 1.17 長井正人神学生、説教奉仕
- 1.31 岐阜加納教会定期会員総会 長井正人神学生を加納教会定住伝道者として招聘することを可決。

定期会員総会感謝
定期会員総会が主のお守りのうちに終わりました。昨年の報告、新しい年の予算、計画等が審議、承認されました。
感謝をもってご報告致します。また5月には臨時会員総会も予定され、7月には大垣に長井教師候補者をお迎え致します。この年の私たちの教会の歩みが守られますようにお祈り下さい。

1993. 2. 7週報より

- 4.11 イースター礼拝、会員の移籍 吉村高明、美智子、フサ子、真理（未）、恵実（未）大垣伝道所へ
- 4.18 教会学校ピクニック（大垣城公園）
- 4.29 野外礼拝（養老公園）
5. 9 臨時会員総会 諏訪哲夫教師の岐阜加納教会牧師辞職承認。
- 5.23 大垣・加納青年会合同親睦会（大垣伝道所）
6. 6 成人洗礼式執行 高田和一
- 6.13 諏訪哲夫牧師、加納教会30年最終説教（加納・大垣合同礼拝）、送別会（岐阜加納教会にて）
- 6.20 諏訪哲夫牧師夫妻送別会（大垣）
- 6.24 諏訪哲夫牧師、玲子夫人 大垣の地より滋賀県草津市に引っ越しをされる。大垣伝道所で、小峯明協力牧師を始め、大垣、岐阜加納両教会会員、十数名ほどが見送る。大変好天で、風の強い日であった。いつまでも車の窓から乗り出すようにして、手を振っておられたのが印象的

であった。(レビも一緒…)。ご夫妻の今後のお働きと奉仕、健康を覚えてお祈りします。



6.29 神戸改革派神学校卒業式
長井正人卒業

6.30 会員の移籍、移動

諏訪哲夫、諏訪玲子（大垣現住陪餐
会員より、岐阜加納教会他住会員へ）

大垣伝道所二十周年を記念して

諏訪哲夫

私の牧師在職中、開拓伝道所開設に比較的深く関わったものが二つあります。
金沢伝道所と大垣伝道所です。

金沢伝道所は中部中会設立二十五周年記念事業の一つとして中会が開設したものです。丁度その頃、伝道委員長をしていた関係上、二十五周年記念宣言の原稿を書くはめとなり、その決意の項第三に次のように書きました。「又、主はわたしたちを北陸三県の伝道にも召しておられると確信し、中会設立二十五周年を機に富山、石川、福井三県への伝道の志を新たにし、可及的速やかに着手します。」

これがきっかけとなって金沢伝道所が始まりました。と言っても、簡単に始まった訳ではありません。

決意は表明したものの、何一つ具体的な計画があった訳ではありません。むしろ、教師の中には厳しく反対した人たちがいたくらいです。しかし、それから四、五年後に漆崎英之氏（現金沢伝道所宣教教師）によって金沢伝道を開始できたのはひとえに神さまの恵みの導きによるものです。金沢伝道所のことは本稿の本筋ではありませんから、詳しいことは書きませんが、始めるまでにはいろいろな困難がありました。一時は、四面楚歌の悲哀を覚えたこともありました。それを思うと、よくぞ開始に漕ぎつけたものだと、感無量なものがあります。

一方、大垣伝道所は岐阜加納教会伝道開始五十周年記念として加納教会小会の決議によって始められました。これも、今の島町に会堂が建つまでには幾年かの年月と苦労を要しました。

こんな事情から、私にとってこの二つの伝道所のその後の動向は、少し大袈裟にいうと自分の子供の成長を見るように非常に気掛かりで、絶えず祈って今日に至りました。幸いなことに両伝道所とも、朝の礼拝出席者数が20名（1994年度）です。今ではしっかり根を下ろして、今後は年々の収穫を期待できるまでになりました。感謝です。ここまで成長した大垣伝道所が、今年伝道開始二十周年を迎えることになりました。1月だったと思いますが、元木昭男兄からお手紙で、二十周年記念誌の発行を計画してい

るから投稿して欲しいとのご依頼を受けました。

自分の子の成長を見守るようにして来た者として、ここまで成長させて下さった神さまのお恵みを感謝しながら、ご依頼に応じて拙文を認(したた)めることにいたします。

《大垣伝道前史》

大垣伝道所は岐阜加納教会伝道開始五十周年記念事業の一つとして始まったことは、既にかきました。しかし、加納教会小会がこれを決定するには、その動機付けとなる前史ともいべきものがありました。それを知る人は今でも少数ですし、それを書いたものは一つも存在しませんから、大垣伝道所の歴史の一コマとしてここに書き記して置くことにします。

と言っても、それを正確に書くための資料が手元に何一つ無いことが残念です。ここ三年半の間に引越しを二度もした関係上、資料が失われたりダンボール箱に詰められたまま今も倉庫に押し込まれている状態です。ですから、昔のことを記憶に頼って書くしかありません。その点、あらかじめお断りしておきます。

大垣伝道のそもそもの揺籃(ようらん)は1970年ころにあったある一つの動きにあったと思います。当時、犬山・那加・加納三教会で合同壮年会を組織して年に三・四回勉強会を持っていました。ある時、加納の壮年会から「江南市あたりに三教会共同で新伝道所を開設しよう」と提案しました。けれども、この時は機熟せずして不発に終わりましたが、実はこれが大垣伝道のそもそもの「種」だったのでした。

「共同で開拓伝道を」の夢が敗れた加納教会は、加納単独で開設しようとの思いに導かれ、時あたかも伝道開始五十周年でもありましたから、五十周年記念事業の一つとして始めることにしたのでした。1973年3月の小会でのことです。しかし、場所はまだ大垣とは限定してはいません。池沢伝道委員長(当時)を中心に一宮、羽島そして大垣に適当な場所探しに奔走しました。見当たらないまま二年三年と時は空しく過ぎ去って行ったのでした。

そんな時、吉良昭一郎兄ご一家が大垣市内に転居して来られました。早速、加納教会の開拓伝道計画を話したところ、伝道熱心なご夫妻は自宅を解放して集会を開くことを心よく引き受けて下さいました。場所も国鉄大垣駅の近くで大垣市の中心でしたし、早速お願いして第一回集会を開いたのが1975年11月でした。

これがそもそも大垣伝道所としての最初の集会になったのでした。

その後、笠縫町時代を経て現在の島町へと移ったのですが、それまでには9年の年月と二人の牧師(服部博先生、遠山信和先生)の交替を経験しなければなりませんでした。

《大垣伝道所設立の目的》

元木昭男兄から投稿の依頼があった時、テーマが指示されていました。「大垣伝道所設立の目的について」というものでした。

この点は極めて明白です。二つあります。

第一は、改革派教会の一つの枝である加納教会は、改革派教会創立当初からの願いである「日本全土に改革派教会を！改革派伝道を！」の実現に貢献し、責任の一端を果たしたい、との思いです。中会二十五周年記念宣言の決意の項に、北陸は伝道の非常に困難な土地柄であることを百も承知の上で、「主はわたしたちを北陸三県の伝道にも召しておられると確信し…富山、石川、福井三県への伝道の志を新たにし、可及的速やかに

着手します」と書いたのも同じ使命感からでした。

第二は、1923（大正12）年に日本キリスト教会加納伝道所を開設以来、第二次世界大戦後の現牧師館と会堂建築をも含んで、今日の加納教会実現に多大の援助を惜しまれなかった米国南長老教会に対する感謝の表明です。

先に書いた、犬山・那加・加納三教会共同で江南市に開拓伝道所開設を提案したり、いつであったかははっきりと覚えていませんが、加納教会のある年の標語を「受ける教会から与える教会へ」としたのもすべて同じ思いからでした。言葉に言い尽くし得ない程の愛と援助を与えてくださった南長老教会の主にある兄弟姉妹に対し、何をもって応えるべきか、また、できるのかと考える時、助けていただいて今日まで福音伝道ができた私たちとして、新たに伝道所を開設して伝道の手を少しでも広げて滅び行く魂を一人でも多く救うこと以上のことはないのではないか。それが、不十分であるかも知れないけれども、南長老教会に対するせめてもの感謝の表明となり、主の愛に応える途でもあると思うのです。

大垣伝道を志して以来今日まで、私たちの弱さの故に上よりの召命に十分に応えることはできませんでしたが、主の憐れみに赦され、支えられて二十周年を迎えました。しかも、現住陪餐会員18名、朝拝出席平均20名（1994年度）を数えるまでになりました。主のお恵みを感謝するとともに、今日までにご奉仕下さった服部博先生、遠山信和先生、小峯明先生、長井正人先生の熱心と祈り、および会員皆さんの教会を愛する愛と熱心の賜物であることを思っ感謝に耐えません。おめでとうございます。

今後も、長井先生を中心にして結束し、益々成長して経済的独立を果たして下さい。政治的にも長老と執事を持つ教会を目指して一層励んでください。いつも祈っています。

（大垣伝道所20周年記念誌より）

（島町での伝道④ 長井正人協力牧師時代（1993年7月1日～1997年3月31日））

7. 1 長井正人 協力定住伝道者として大垣伝道所に着任

7. 4 長井正人先生一家歓迎会

7. 6 臨時中会（名古屋）

次の事項の承認

・諏訪哲夫教師 岐阜加納教会牧師
辞職願、規定外奉仕許可願

・小峯明教師 岐阜加納教会牧師就
職願

・長井正人教師候補者 岐阜加納教
会協力定住伝道者就職願

7. 11 長井正人先生、美登里夫人、美
樹ちゃん、遣くん、慎くん 一家歓

迎会



1993. 7. 11 長井正人先生歓迎会

8. 15 転入式執行 長井正人、美登里、

美樹(未)、遣(未)、慎(未) (神港教会より)

長井正人 岐阜加納教会協力定住伝道者就職式 (大垣伝道所担当)

特命委員 金田幸男、中根汎信両教師、太田勝一長老

10. 7 長井正人教師候補者 大会教師試験を受験、全科目合格

11. 2～3 加納・大垣婦人会合同一泊修養会「教会の生命は礼拝にあり」講師：小峯明牧師 (長良川ハイツ)

11. 21 臨時会員総会 大垣、岐阜加納合同 課題：長井正人教師の協力教師招聘の件

12. 6 臨時中会 会場：一宮勤労福祉会館 長井正人教師候補者 教師任職願

12. 12 長井正人教師 協力牧師就職式中会特命委員 佐々木弘至、金田幸男両牧師、近藤 昭長老

12. 19 クリスマス特別伝道集会「あなたに必要なものはここにある」説教・証し：長井正人協力牧師、愛餐会、クリスマス子供集会、加納・大垣青年会合同クリスマス会

5. 11 転入式執行 転入 松下勝章、道子、小羊子(未) 芦屋教会より

7. 17 子ども集会(17名)

7. 22～23 一泊修養会 (長良川スポーツプラザ)

8. 28 浴槽工事費 (103万円) 加納より25万円援助 (壮年会、婦人会各5万円、自由献金5万円、主の日の礼拝で献金)

9. 11 朝礼拝後、再度献金をして、大垣伝道所、浴槽工事費用として捧げる(47,764円)。次回10月9日にも捧げる予定

10. 9 大垣伝道所浴槽工事費用献金を捧げる (39,105円)

10. 16 婦人会、大垣と合同で例会 大垣伝道所、長井正人協力牧師、「大垣の今後について」(26名)

10. 23 野外礼拝(24名)と芋煮会 (養老公園)

11. 3 加納・大垣合同婦人会一日修養会

11. 13 大垣伝道所浴槽工事のための献金 (39,542円) (加納教会)

12. 18 クリスマス子ども集会 (39名) 大垣伝道所浴槽工事のための献金 (加納教会)

12. 24 キャンドル礼拝(21名)

12. 25 クリスマス特別伝道集会(30名)、祝会、幼児洗礼式執行 松下光歩、大垣・加納合同青年会クリスマス会 (加納教会)

1994年大垣伝道所年報より 定期集会

朝の礼拝 毎日曜日 am10:30

家庭伝道集会 毎日曜日 pm7:30

聖餐式 第2日曜日 朝の礼拝時

教会学校 毎日曜日 am9:30

祈 禱 会 毎水曜日 pm7:45

1994年 「伝道の喜び」

使徒言行録2:47b

1. 2 新年礼拝
3. 6 大垣伝道所に、車購入(68万円)
3. 20 岡田信夫兄の送別会と松下さんご家族の歓迎会
4. 17 イースター子供集会(20名)
5. 8 特別伝道集会「その水を下さい」武田恒義教師(41名)

1995年 「主に仕える教会」

エフェソ4:12～13

1. 1 元旦礼拝
1. 6 会員の異動 清水伸司 (現住陪餐会員より他住会員へ)
4. 16 イースター礼拝、信仰告白式執行 元木真理、イースター子供集会 (子供37名、大人6名)
5. 28 特別伝道集会 講師：ビンセン

ト・スタブス宣教師



1995. 5. 28 大垣伝道所の皆さん

春の特別伝道集会
ビンセント・スタブス宣教師を迎えて

- 6. 11 野外礼拝（養老公園）、昼食会
- 7. 9 松下家送別会、会員の異動 松下勝章、道子、小羊子(未)、光歩(未) 現住陪餐会員より他住会員へ
- 7. 15～16 一泊修養会（長良川スポーツプラザ）
- 9. 10 夏の子供集会(30名)
- 9. 17 成人洗礼式執行 橋本良雄
- 11. 12 大垣伝道所開設20周年記念礼拝、愛餐会、感謝会(64名) 20周年記念誌発行



大垣伝道所開設 20周年 記念誌
1995. 11. 12

- 12. 17 クリスマス子供集会(70名)
- 12. 24 特別伝道集会(29名、新来3名)、愛餐会、青年会クリスマス

1996年 「祈りを共にする教会」

テサロニケー5:16～18

- 2. 4 会員の異動 転出 又吉ひとみ（那覇伝道所へ）
- 4. 21 イースター子ども集会(39名)
- 5. 19 転入式執行 安江美樹子（中津川教会より）
- 6. 9 大垣全体懇談会（牧師招聘に関する話し合い、意見交換）
- 6. 16 加納大垣懇談会、会員の異動 転出 松下勝章、道子、小羊子(未)、光歩(未) 千里摂理教会へ
- 7. 6 加納小会(2名)、大垣委員会(2名) 長丘へ話し合いに行く
- 7. 14 大垣全体懇談会
- 8. 11 長井正人 岐阜加納教会協力牧師辞職願 小会了承
- 8. 25 青年会親睦会（バーベキュー） 教会駐車場
- 9. 8 秋の子ども集会(35名)
- 11. 16 元木典子、村瀬雅光の結婚式挙行
- 11. 24 臨時会員総会 課題「長井正人教師の岐阜加納教会協力牧師辞職願」、「協力牧師招聘委員会設置」以上2議案を可決する。
- 12. 2-3 第2回定期中会 会場：恵那教会 主な議題：諏訪哲夫教師の教師引退願、長井正人教師の岐阜加納教会協力牧師辞職願(3月末)
- 12. 8 小川洋（中津川教会牧師）（岐阜加納教会協力牧師後任候補者）大垣伝道所説教奉仕、昼食会、加納教会夕礼拝説教奉仕
- 12. 15 クリスマス子ども集会(63名)
- 12. 22 クリスマス特別伝道集会(26名)、愛餐会、青年会（加納と合同）
- 12. 29 会員の異動 高田和一（現住陪

餐会員より別帳会員へ)

1997年 「希望に生きる教会」

ローマ8:24~25

1. 26 定期会員総会 大垣伝道所協力
牧師招聘可決 (小川洋)
3. 2 長井家送別会 (加納教会)
3. 9 長井牧師一家送別会 (大垣)、加
納教会夕礼拝は長井正人協力牧師に
よるお別れ説教 説教:「主の道を
歩む幸い」

長井先生送別説教

本日の夕拝は長井先生の送別説教です。
会員の皆さまの御出席をお願い致します。
長井先生ご一家の九州でのお働きのために
お祈り下さい。小川先生の着任は、31日(月)
午後の予定です。長井先生を送り、小川先生
を迎える大垣伝道所のためにお祈り下さい。

1997・3・9週報より

3. 23 春の特別伝道集会 説教:長井
正人協力牧師、出席40名、新来8名
3. 27 長井正人教師一家 離任 (九州、
長丘教会へ)

(島町での伝道⑤ 小川洋協力牧師時代(1997年4月1日~2003年3月31日))

3. 31 小川洋先生、大垣伝道所へ着任
4. 6 小会と執事会とで小川洋先生の
歓迎食事会を持つ
夕礼拝 小川洋先生 説教奉仕
説教:「痛みの中で祈る」
4. 13 小川洋協力牧師歓迎会、会員の
異動 転出 長井正人、美登里、美
樹(未)、遣(未)、慎(未) 福岡・長
丘教会へ
4. 20 小川洋教師 岐阜加納教会協力
牧師就職式 於:大垣伝道所、中会
特命委員 井上二郎、橋谷英徳両教
師、石田和夫長老(64名)
転入式執行 小川洋 (中津川教会
より)
5. 25 野外礼拝 (養老公園)
9. 13 CS子供集会
10. 19 特別伝道夕拝 講師:盛永進ロ
ンドン日本人教会牧師 説教:「畑
の中の宝物」
12. 6 元木有紀、中矢 剛と結婚式挙

行 場所:飛騨プラザホテル 司式
:小川洋協力牧師

12. 13 CSクリスマス会
12. 21 クリスマス特別伝道礼拝(29名)、
洗礼式執行 成人洗礼 杉山みね、
祝会、青年会クリスマス(加納教会)
12. 24 クリスマス・イブ祈禱会(11名)

1998年 「主に従い抜く」

マタイ16:24~25

4. 12 復活節記念礼拝
転入式執行 吉田 崇 (宝塚教会
より)
イースター子供集会(19名)
6. 14 特別伝道集会(25名)
7. 18~19 夏期修養会 (すいとぴあ江
南)
9. 13 秋の子ども集会(25名)
9. 27 特別伝道集会 (説教者:盛永進
教師)(38名)
11. 8 カーポートを修理

- 12. 1 会員の異動 中矢有紀（現住陪餐会員より他住会員へ）
- 12. 19 クリスマス子ども集会(28名)
- 12. 20 クリスマス記念礼拝(23名)
洗礼式・信仰告白式執行 幼児洗礼：
岡田雅絵、岡田千紘 信仰告白：岡
田幸代、愛餐会、キャロリング
- 12. 23 燭火礼拝(9名)

- 4. 24 春の子供集会(36名)
- 5. 30 野外礼拝（国分寺跡）
- 6. 13 特別伝道集会(23名)
- 7. 17～18 夏季修養会（上石津『奥養老』）
- 10. 17 秋の特別伝道集会（小峯明牧師）
22名
- 11. 14 秋の子供集会(29名)
- 12. 12 子供クリスマス(17名)
- 12. 19 クリスマス特別伝道集会(21名)
青年会クリスマス祝会 出席14名
（岐阜加納教会、大垣伝道所合同）
- 12. 24 キャンドルサービス(15名)
- 12. 26 会員懇談会、キャロリング

1999年大垣伝道所年報より **定期集会**

- 朝の礼拝 毎日曜日 am10:30
- 夕の礼拝 第1, 5主日 pm6:30
（家庭集会） 第2, 3, 4主日 pm7:00
会員の家庭
- 教会学校 毎日曜日 am9:30
- 祈 禱 会 毎水曜日 pm7:45

2000年 「御言葉に心を開く」

ヤコブ1:21

1999年 「御言葉に親しむ」

使徒言行録17:11

- 2. 9 山田義直 召天
- 4. 4 復活節礼拝

- 1. 25 富川富代 昇天(27日 葬儀)
- 3. 5 岐阜加納教会の中長期計画（開拓伝道）に関する基本方針が提出される。

岐阜加納教会の中長期計画（開拓伝道）に関する基本方針

『岐阜加納教会は創立50周年に開拓伝道の志を与えられ、大垣伝道所を開設し、教会が教会を生み出す恵みを受けて来た。この伝道困難なわたしたちの社会の中で教会が教会を生み出し、その発展を支援することは神の御旨に適うことであると確信する。

よって、岐阜加納教会小会は教会創立50周年時の決意である開拓伝道〔大垣伝道所〕を今後も継続し、相応しい時に、経済的、政治的独立またはそれに準ずる形態への移行を目指すこととする。そのために主の助けをひたすら祈り求め、主の御心に適う方策を検討し、上記目標の実現のために必要な措置を実行することとする。

2000 3. 5. 岐阜加納教会小会』

〔解説〕

- ①この基本方針は、岐阜加納教会の中長期計画の検討の中で再確認されたものである。
- ②この基本方針は、教会が独立教会を生み出すという岐阜加納教会が祈り願い実行して来た伝道活動の継続を確認している。よって、独立教会の形成のために適地が与えられるならば、移転等の検討も視野に入れられている。
- ③「経済的、政治的な独立またはそれに準ずる形態への移行」は、中会への移管を念頭に置いている。但し、その交渉は今後の課題である。
- ④岐阜加納教会の開拓伝道は、当該伝道所委員会と協議しつつ、岐阜加納教会小会が主導する。

中長期計画(開拓伝道)に関する基本計画

「岐阜加納教会は創立50年に開拓伝道の志を与えられ、大垣伝道所を開設し、教会が教会を生み出す恵みを受けてきた。この伝道困難な私たちの社会の中で教会が教会を生み出し、その発展を支援することは神の御旨に合うことであると確信する。よって、小会は教会創立50周年の決意である開拓伝道〔大垣伝道所〕を今後も継続し、相応しい時に、経済的、政治的独立または、それに準ずる形態への移行を目指すこととする。その助けをひたすら折り求め、主の御心に合う方策を検討し実行することとする。」

2000.3.5 岐阜加納教会小会

上記基本方針は、次回小会にて大垣伝道所委員会に説明し理解を求めます。また、基本方針に基づく対策として、小会は、移転等を視野に入れて大垣伝道所の後任の牧師の招聘準備活動を行うこととしました。

〔招聘委員会設置まで〕

2000.3.12 週報より



- 4.23 復活節記念礼拝(22名)
移籍 村瀬典子 大垣伝道所より岐阜加納教会へ
- 6.11 ペンテコステ特別伝道集会(21名)
- 6.25 子供集会(11名)
- 7.15~16 夏季修養会(上石津『奥養老』)12名
- 9.17 愛餐会
10. 8 秋の特別伝道集会(井上二郎教師)22名
- 10.28 山口美樹子(旧姓:安江)結婚式
11. 1 大垣委員会を開催する(小川洋協力牧師辞職に関して)。

4.23 復活節礼拝(22名)

2000年11月1日(水)

大垣教会委員会申し合わせ事項

1. 週報について → 別紙のようにする
2. 年末・年始の行事予定 → 別紙のように行う(一部未定)
3. 係り分担 → 来年度から当分の間次のように分掌する
 - ①大垣『第〇回定期委員会』と『第〇回定期委員会報告』の作成→岡田めぐみ(書記)
 - ②『出席者名簿』の作製 → 吉村
 - ③礼拝・祈祷会等の出席者数の集計 → 岡田めぐみ
 - ④教会会計 → 橋本・吉村
 - ⑤小口現金による支払、振込等 → 橋本
 - ⑥『週報』の作成 → 吉村
 - ⑦聖餐式の準備(パン、葡萄酒20) → 岡田定代
 - ⑧会堂管理(建物・庭の草花や植木) → 岡田定代
 - ⑨講壇の花準備 → 元木順子
 - ⑩会堂清掃 → 祈祷会后、全員
 - ⑪礼拝奏楽 → 岡田定代
 - ⑫CS奉仕者 → 別記
 - ⑬礼拝受付、献金の折り → 輪番(別紙3カ月行事予定表参照)
4. 委員全員が会堂のスペアキーを1本ずつ持つ
5. 奨励をして下さる長老様に次のことをお願いする
 - ①司式も併せてして頂けたら感謝!
 - ②礼拝での賛美歌は1曲のみ選んで頂き、他は奏楽者が選ぶ。
 - ③奨励の「題」「聖書の箇所」「賛美歌1曲」を、2週間までに教えて頂けたら感謝!
→ 小峯先生または、週報作成担当者へ
6. 2001年度の行事について、下記のことを定める。

- ① 元日礼拝は、加納教会の礼拝に合流させていただく。
- ② 吉田崇兄の激励会を3月下旬に行う。
- ③ 「野外礼拝」は、この年度は中止する。
- ④ 「秋の特伝」のみを10月に予定し、講師を小峯先生にお願いする。
- ⑤ 「修養会」は、加納教会に合流させて頂く。

7. 教会学校教師について

→ 次の会員の方々に新たに教会学校教師になっていただく。

橋本良雄兄、岡田定代姉、岡田幸代姉、(三宅維知子姉)

8. 大垣定期委員会は、月末の木曜日(祈禱会後)に行う

9. 「0584-91-3538」は「058-271-7752」へ転送して頂く。

以 上

11.12 午後、臨時会員総会と懇談会

議案：1. 小川洋、岐阜加納教会協力牧師辞職願 2. 岐阜加納教会協力牧師招聘委員会設置の提案

懇談会：大垣伝道所の将来と次年度の計画

12. 4 中部中会第二回定期会 小川洋協力牧師辞職願可決、吉田崇兄教師候補者登録。

12.17 子供クリスマス(35名)

12.24 クリスマス特別礼拝(25名)

信仰告白 吉村真理

加入 三宅維知子(揖斐キリスト教会より)

祝会と送別会

12.25 燭火礼拝(15名)

12.31 会員の異動 小川洋教師(大垣伝道所より岐阜加納教会他住会員へ)

小川洋、12月31日付で岐阜加納教会協力牧師辞職、中部中会規定外奉仕教師となる

2001年 「福音と共に生きる教会」

コリントー9:23

- 1. 7~28 加納教会長老の奨励により礼拝が守られる

新年に際して

新しい年最初の主の日の礼拝です。
 今年は、「祈り続ける教会、祈り続けるわたしたち」ルカ18:1~8 との標語を掲げて歩みます。皆様の祈りの生活が祝福されますようにと願っています。主のご栄光のために教会と隣人のために仕えて行きましょう。

小会は中長期計画実行に関する次の答申を可決しました。

① 大垣伝道所の将来に関する計画

岐阜加納教会からの会員の移籍も視野に入れて、合意出来る移転案を作成する、そのために開拓伝道委員会を設置し、必要な調査検討を行い小会に提案する。

② 新会堂建築に関する計画

新会堂建築を80周年以後の教会的な課題とし以後相応しい時期に、これに着手する事そのために必要な調査、研究、手続きを新会堂建築委員会が検討し、随時小会に報告提案する。(期限 2年) 2000.12.31

2001.1.7週報より

- 1.14 小川洋 中部中会規定外奉仕教師に、1月28日~4月30日まで大垣伝道所での働きを継続することを依頼する

「小川先生のこと」について

小川 洋 中部中会規定外奉仕教師は、英国日本人教会で奉仕するためのヴィザ取得にまだ暫らく時間がかかるとの事で、1/28～4/30迄大垣伝道所でご奉仕して下さることになりました。小川先生は、協力牧師ではないので、牧師の働きに関する委員会の助言を得て後、この奉仕をして下さる事になっています。1月中は、無牧となりますので、長老さんたちに主の日のご奉仕をしていただきます。祈禱会は、小峯牧師が奨励に行きます。

2001.1.14 週報より



2001.11.22～23 修養会 大垣伝道所と合同
グリーンプラザみやまコテージ村
願いと祈りが一つになりました

- 3. 18 吉田崇兄激励会（神学校入学）
- 3. 25 臨時会員総会

小川洋 中会規定外奉仕教師のヴィザ取得にまだ日時を要するため、大垣伝道所での奉仕を一年間継続していただく事にしました（岐阜加納教会協力牧師に準ずる働き）

小川洋先生がこの件を了承。その為に岐阜加納教会2001年度予算修正の提案がなされ、可決

- 4. 1 吉田崇教師候補者神学校入学につき、食事を共にしながら壮行会を行う（加納）
- 4. 15 復活節礼拝
- 5. 13 野外礼拝（垂井）
- 6. 9 岡田めぐみ、廣瀬誠、結婚式を挙行（岐阜加納教会）
- 10. 14 車両を買い換える
- 11. 18 懇談会（大垣の将来について）
- 11. 22-23 岐阜加納教会・大垣伝道所合同修養会 場所：グリーンプラザみやま 主題：「祈り続ける教会、祈り続ける私たち～心をつなげて祈ろう」

- 12. 16 子供クリスマス（18名）
- 12. 23 クリスマス特別礼拝、祝会
信仰告白 吉村恵実
加納・大垣合同青年会
- 12. 24 燭火礼拝（22名）
- 12. 30 会員の異動 野村仁美、吉田崇（現住陪餐会員から他住会員へ）

2002年 「約束の成就を信じる」
列王記上8:24

小川洋教師（中会規定外奉仕者）は、後任の協力牧師招聘の推移をみながら、もう一年程度大垣伝道所で奉仕の予定となる。伝道所の働きと独立を祈りのうちに覚えよう。

木村幸夫長老、和子執事夫妻
大垣伝道所で礼拝奉仕

木村幸夫長老、和子執事ご夫妻よりの大垣伝道所礼拝出席の申し出を承認しました。

4月よりご夫妻は大垣伝道所にて礼拝奉仕をされます。長老、執事としての加納教会での具体的な諸奉仕は行わず、もっぱら大垣伝道所で奉仕されますが、長老として小会会議には出席されます。執事会には、出席できる時にしていただくことにしました。期間は2年間で、その都度、必要があれば検討することにしました。木村長老ご夫妻のために祈りください。

2002.3.10 週報より

- 3. 17 杉山みね 昇天
- 3. 31 復活節記念礼拝
杉山みねの葬儀礼拝を執行

- イースター子ども集会
- 4. 14 木村兄妹歓迎会
 - 5. 19 ペンテコステ特伝礼拝
 - 5. 26 野外礼拝（垂井・相川川原）と芋煮会
 - 7. 6 岡田幸代、大原久幸の結婚式を挙行 司式：小川洋教師、場所：大垣伝道所
 - 8. 18 辻幸宏教師 説教奉仕、愛餐会、夕礼拝加納教会において説教奉仕
辻幸宏教師は岐阜加納教会協力牧師として来年4月に招聘予定
 - 8. 20 日曜学校遠足（名古屋港水族館）
 - 9. 8 臨時会員総会 議題：岐阜加納教会協力牧師招聘の件 辻幸宏教師（大垣伝道所担当）の招聘を可決
 - 10. 27 秋の特伝礼拝 盛永進教師（ロンドンJCF牧師）（31名）
 - 11. 9～10 修養会（グリーンプラザみやまコテージ村）13名
 - 11. 10 小川洋教師に渡英のためヴィサ発給
 - 12. 2-3 中会第二回定期会 辻幸宏教師の中部中会転入願、岐阜加納教会協力牧師就職願が満場一致で可決
 - 12. 15 子どもクリスマス会
 - 12. 22 クリスマス礼拝、愛餐会

12. 23 燭火礼拝(19名)

牧師室より

小川 洋教師(大垣伝道所にて奉仕)の渡英ヴィザが発給され、いよいよ4月にはロンドンに旅立って行かれます。大垣伝道所辞職についていろいろと議論を重ねてきましたが、導きを与えられたことと思います。

大垣伝道所に4月に赴任予定の、辻牧師は11/23に、東部中会で転出の手続き、12/2の中部中会で転入、大垣伝道所就職の手続きが行われる予定です。大垣伝道所の将来の次の幕が開きます。これまでの議論を重ねて今後とも検討し、主の導きに期待しています。先週は、伝道委員会の働きで焼津、浜松伝道所を間安してきました。中会の伝道も限られた予算の中で、知恵深く主に仕えて行かねばならないことを示されています。お祈りください。

2002.11.17 週報より

2003年 「神にのみ希望をおく」

詩編62:6

- 3. 23 幼児洗礼式（岡田諒人）
- 3. 24～27 牧師館補修工事
- 3. 30 小川洋教師 送別会、大垣伝道所離任

〔島町での伝道⑥ 辻幸宏協力牧師時代(2003年4月1日～2018年3月31日)〕

- 4. 1 辻幸宏協力牧師 大垣伝道所に赴任
- 4. 5 小川洋教師 ロンドンへ出発
- 4. 6 辻幸宏協力牧師一家 歓迎会
加納教会で、小会、執事会合同にて昼食を共にし歓迎
転入式執行(岐阜加納教会夕拝時)
辻幸宏、三枝子、紫苑(未) 上諏訪湖畔伝道所より



- 4. 7 吉田崇神学生 説教免許試験に合格
- 4.13 辻幸宏牧師一家歓迎会
- 4.20 イースター礼拝
- 4.27 辻幸宏協力牧師就職式 特命委員：中根汎信、村手 淳、青山昭一郎 大垣伝道所にて



- 5. 5 元木真理、松本崇 結婚式挙行式場：エル・アリヴォ岐阜 司式：辻幸宏協力牧師
- 6.22 特別伝道集会「永遠に続く神の癒やし」 説教者：辻幸宏協力牧師 (27名)
- 7.20～21 教会修養会 (奥養老) 18名
- 9.21 会員懇談会「大垣教会の将来について」 20名
- 10.26 特別伝道集会「自分とどうつき合うか」大西敏雄教師 (尾張旭教会) (28名)
秋の子ども集会 大西牧師による腹話術 (30名)



- 11.16 会員懇談会
- 12.21 クリスマス感謝礼拝(27名)・愛餐会、子供クリスマス会(29名)
- 12.23 キャンドル礼拝(20名)
- 12.28 会員異動 橋本良雄 (現住陪餐会員→他住陪餐会員)

2004年大垣伝道所年報より 定期集会

- 教会学校 毎日曜日 am9:30
- 主日礼拝 毎日曜日 am10:30
- 夕礼拝 最終日曜日 pm6:30
- 祈祷会 毎水曜日 pm7:45
- 家庭集会 第2, 3日曜日 pm7:30
吉村家、岡田家
- 婦人会 毎3日曜日 礼拝後

2004年 「神の栄光を称える歩み」 ～御言葉と祈りで仕える～

ローマ11:36b

- 2. 4 祈祷会 (元木家) この日より毎月第一水曜日の祈祷会を元木家で始める。
- 3. 6 野村仁美姉、松井義さんと結婚 (軽井沢にて)
- 3. 7 開拓伝道委員会
- 4. 4 教会学校において、「中部中会教会学校教案誌」の使用を始める。
- 4.11 イースター礼拝、イースター子ども集会(16名)
- 4.18 復活節礼拝
- 5.16 特別伝道礼拝「本当の平和とは？」辻幸宏協力牧師(23名)
- 6.13 会員懇談会開催「今後の大垣伝道所について」発題：吉村高明委員
- 6.20 開拓伝道委員会
- 7.11 転出 吉田崇 (坂出飯山教会へ)
- 7.18-19 教会修養会 (グリーンプラザ みやま キャンプ場)「礼拝について」辻幸宏協力牧師 20名



9. 5 教会ホームページ開設 (<http://www.ogaki-ch.com>)



12.25 クリスマス子ども集会 36名

聖書に基づく堅実な説教
力強く、美しい賛美
心温まる交わり



日本キリスト改革派大垣教会

牧師: 辻 幸宏 ☎91-3538
<http://www.ogaki-ch.com>

- 9. 5 開拓伝道委員会
- 9.12 転入式 杉山明、和子 (瑞浪伝道所より)
- 9.19 特別伝道礼拝 「言葉の時代に生きる道」石丸新引退教師 27名
- 10.30 岡田信夫兄・古田真由子さん結婚式 (金城学院大学) 司式: 辻幸宏協力牧師
- 12.19 クリスマス礼拝・愛餐会 25名
- 12.24 キャンドル礼拝 27名

2005年

「神の言葉を礎とし、教会をたてる」
マタイ7:24

- 3.18 杉山明先生宅で家庭集会を始める。
- 3.21 教会学校いちご狩り (八日市)



- 3.27 イースター礼拝 21名
- 4.10 小川洋先生 礼拝説教、愛餐会。



- 4. 15 召天：吉村フサ子（同日前夜式、
16日葬儀：セレモニーホール羽島）
司式：辻幸宏協力牧師
- 5. 15 芋煮会
- 5. 27 召天：吉村美智子（29日前夜式、
30日葬儀：セレモニーホールへいあ
ん葬祭）司式：辻幸宏協力牧師
- 6. 12 特別伝道礼拝「ストレス社会と
キリスト教」辻幸宏協力牧師
- 7. 17～18 教会修養会「教会生活」（グ
リーンプラザみやま）22名



- 7. 24 成人洗礼式：濱島有督
- 9. 21 開拓伝道委員会
- 10. 23 伝道開始30周年記念礼拝・講演
会・感謝会 説教者：遠山信和教師
（恵那教会）礼拝33名、感謝会60名
- 11. 1 朱基徹牧師記念会大垣集会（日
本キリスト教会大垣教会）共催する。
- 11. 11 召天：清水伸司
- 11. 27 会堂移転に関する会員懇談会

発題者：吉村高明委員

- 12. 4 会員異動：高田和一（除籍）
- 12. 24 子どもクリスマス会（16名）、キ
ャンドル礼拝（21名）
- 12. 25 クリスマス礼拝（27名）、愛餐会

2006年

「神の御言葉の実現を信じて歩む」

エフェソ1:11～12

- 1. 15 定期会員総会 会堂移転を決議
する。
- 2月 輪転機を購入する。
- 3. 26 釜山日本人教会紹介（石川和宏
長老：横浜教会）
- 4. 16 イースター礼拝
- 5. 7 小川洋先生、夕拝説教、礼拝後
交わり会。
- 5. 28 加納教会で会員懇談会 大垣伝
道所移転について話し合われる。
- 6. 11 転出：岡田信夫（名古屋教会へ）
- 6. 18 特別伝道礼拝「心の病、治して
いますか？」辻幸宏協力牧師
- 7. 16～17 大垣教会修養会（コテージ
村みやま）21名



- 8. 20 加納・大垣合同臨時会員総会
大垣伝道所移転決議
- 12. 3 小川洋先生、夕拝説教、礼拝後、
交わり会。
- 12. 10 会員懇談会。
- 12/23 クリスマス子ども集会（17名）
- 12. 24 クリスマス礼拝、愛餐会（17名）。



キャンドル礼拝(19名)。

**2007年 「信仰の養いによる教会形成」
ヤコブ4:10**

この年より、夕拝は午拝(pm2:00)
第4主日開催となる。

4. 8 イースター礼拝、愛餐会



5. 10 オルガン搬入



5. 27 オルガン奉献礼拝(35名)
7. 8 特別伝道礼拝「私たちの生きる
目的」辻幸宏協力牧師
8. 12 一日修養会「聖書に親しむ」(教
会にて) 19名

12. 16 子どもクリスマス(29名)
12. 23 クリスマス感謝礼拝、愛餐会(18
名)
12. 24 クリスマス・オルガン・コンサ
ート 演奏者：二宮恵美子姉(22名)

2008年

「信仰による喜びにみちあふれる」

ペトロロー1:9



2. 4 転出：三宅維知子(瑞浪伝道所
へ)
3. 23 イースター礼拝、愛餐会
4. 6 夕拝、小川洋先生が説教をして
下さる。礼拝後に愛餐会開催。
6. 8 特別伝道礼拝「聖書が語る聖書」
～家庭形成の重要さ～辻幸宏協力牧
師(19名)
10. 12 一日修養会「大垣教会の回顧と
展望」(教会にて) 11名



11. 9 特別伝道礼拝「豊かな人生の秘
けつ」小峯明牧師(20名)
11. 15 転会：吉村高明(同盟福音基督

教会羽島キリスト教会へ)

12/14 子どもクリスマス会(23名)



12/21 クリスマス感謝礼拝、愛餐会(14名)、移籍：吉村真理、恵実(岐阜加納教会へ)

12/23 キャンドル礼拝(17名)

この年、下水道工事が行われる。

2009年 「主の言葉によって生きる」

ヨハネ1:4~5a

- 4.12 イースター礼拝、愛餐会、イースター子ども集会(15名)
- 5.31 特別伝道礼拝「生きる希望」辻幸宏協力牧師(23名)
- 5.31 会員異動：祖下三恵子(加納教会より)
- 7. 4~ 5 教会修養会(奥養老、教会)
「主、共にいます礼拝と伝道」辻幸宏協力牧師(11名)
- 7.26 岐阜加納教会新会堂感謝会
- 9.20 小川洋先生、午拝で説教をして下さる。礼拝後に交わり会を持つ。



10.12 岐阜加納教会献堂式。

11. 8 特別伝道礼拝「どうして神様は苦しみをお与えになるの？」辻幸宏協力牧師(24名)

12.20 クリスマス感謝礼拝(20名)、愛餐会、クリスマス子ども集会(22名)



12.23 キャンドル礼拝(17名)

2010年 「キリストとの交わりに生きる」

エフェソ4:15~16

- 1. 1 新年礼拝(20名)
- 3.18 屋根塗装完了



3. 21 小峯明牧師送別会



4. 4 復活節感謝礼拝(26名)、愛餐会



4. 9 小峯明牧師辞職、この日より西堀則男牧師が就職するまで、辻幸宏協力牧師が加納教会の責任も負うこととなる。

- 5. 11 オルガン追加ストップ納入
- 5. 28 会堂エアコン設置
- 5. 30 特別伝道集会「あなたは孤独ではない～心の渇きを満たす聖書の言葉」辻幸宏協力牧師(22名)

- 7. 3～ 4 一泊修養会(奥養老、教会)
「聖書生活のいのち」(13名)
- 7. 25 西堀則男牧師就職式
- 11. 14 特別伝道集会「充実した人生～希望をもって生きるために～」辻幸宏協力牧師(19名)
- 12. 12 クリスマス子ども集会(37名)
- 12. 19 クリスマス礼拝(19名)、成人洗礼式：藤田康代、愛餐会
- 12. 23 キャンドル礼拝(16名)

2011年 「支え合う教会を目指して」
テサロニケー4:9

- 3. 11 東日本大震災発生
- 3. 13 この日より午拝を夕拝(pm6:30)とする(第二、第四主日)。
- 4. 24 イースター感謝礼拝(23名)、愛餐会、イースター子ども集会(15名)



- 5. 22 特別伝道集会「今、何が出来るか～こんなに小さく無力な私たちを、神さまは愛して下さっている」辻幸宏協力牧師(28名)
- 7. 17～18 一泊修養会(リバーサイド犬山)「支え合う教会を目指して」(13名)



- 10. 23 秋の特伝「KIZUNA(絆)～大切な人に伝えたい～」二宮創教師(太田伝道所)(24名)
- 11. 13 会員懇談会「大垣伝道所の将来について」
- 12. 4 会員異動:濱島有督(他住会員へ)
- 12. 24 クリスマス子ども集会(25名)、キャンドル礼拝(19名)
- 12. 25 クリスマス感謝礼拝(19名)、愛餐会

**2012年 「恐れをもって主を仰ぎ見よ！
魂の救いを求めて…」**

歴代誌上28:9

- 1. 1 新年礼拝(16名)
- 4. 8 イースター感謝礼拝、愛餐会(16名)
- 4. 12 玄関改修工事
- 6. 10 特別伝道集会「一番大切なこと～復興と共に生きる私たち」辻幸宏協力牧師(20名)
- 7. 15 加納教会との合同壮年会「奨励を見つめて～中部中会・岐阜加納教会と大垣伝道所」辻幸宏協力牧師(10名)
- 8. 12 中会長老会問安、奨励:今枝彦彦長老(犬山教会)、愛餐会



- 10/ 7～ 8 一泊修養会(リバーサイド犬山)(11名)
- 10/20 熊谷康宏、藤田康代結婚式(エル・アリーボ) 司式:辻幸宏協力牧師



- 11/18 特別伝道集会「ふるさとに憩う喜び」杉山明引退教師(23名)
- 12. 15 クリスマス子ども集会(16名)
- 12/23 クリスマス礼拝、愛餐会(17名)
- 12/24 キャンドル礼拝(25名)
- 12. 30 会員異動:山口美樹子(他住へ)

**2013年 「いつでも霊的に判断し、
霊的に語り、霊的に行動しよう」
ローマ8:5**

- 2. 24 木村幸夫長老、和子姉送別愛餐会、ご夫妻が長年大垣伝道所の支援のために集って下さったことに感謝します。3月以降、加納教会長老が毎月交替で礼拝に出席して頂く。



- 3. 29 自動車購入 (日産ノート)
- 3. 31 イースター礼拝、愛餐会
- 4. 28 夕拝説教：小川洋教師
- 6. 16 オープンチャーチ「イエス・キリストが癒やして下さる」立石彰教師 (東仙台教会) (29名)
- 6. 28 トイレ改修工事完了 (バリアフリー化、ウォシュレット)
- 7. 11 加納教会との合同婦人会 (25名)



- 7. 21 加納教会との合同壮年会 (10名)
- 10/14 一日修養会「三位一体なる神さまを信じる信仰とは何か」辻幸宏協力牧師 (13名) ※この年以降、会堂にて行うこととなる。
- 12/21 子どもクリスマス (15名)



- 12/22 クリスマス感謝礼拝、愛餐会
- 12/23 キャンドル礼拝

2014年 「救いの喜びに生きる」

ローマ12:2

- 1. 1 新年礼拝 (14名)
会員異動：杉山明、和子 (岐阜加納教会へ)
- 2. 2 会員異動：濱島有督 (別帳会員へ)
- 2. 24 熊谷光祐、誕生
- 4. 20 イースター礼拝、愛餐会 (9名)
- 6. 8 オープンチャーチ「311以後の社会的変化の中で『生きる』とは？」辻幸宏協力牧師 (13名)
- 7. 10 加納教会との合同婦人会 (岐阜加納教会)「祈る婦人」講演：朴徹宣教師、開会礼拝：辻幸宏協力牧師
- 7/20 加納教会との合同壮年会
- 10/19 オープンチャーチ「人生を楽しく、希望を持って生きるには…」辻幸宏協力牧師 (14名)
- 11/ 9 一日修養会「信徒の手引きを学ぶ」
- 12/20 子どもクリスマス (21名)
- 12/21 クリスマス礼拝 (15名)、幼児洗礼式：熊谷光祐、愛餐会



12/24 キャンドル礼拝(16名)
この年、壁紙張替を行う。

2015年

「キリストと共に、家族とともに」
使徒言行録16:31

1. 11 黄敬秀宣教師説教奉仕



2月 看板修理



- 4. 5 イースター礼拝、信仰告白式：
辻紫苑
- 6. 28 オープンチャーチ「宗教って何
だろう…」辻幸宏協力牧師(16名)
- 7/12 加納教会との合同壮年会開催
「双恵学園について」杉山明引退教
師(22名)



10/18 オープンチャーチ「聖書が語る
平和」辻幸宏協力牧師(15名)

11/15 一日修養会「創立70周年記念宣
言に学ぶ」(11名)



12/19 子どもクリスマス(18名)

12/20 クリスマス感謝礼拝・愛餐会
(13名)

12/23 キャンドル礼拝(17名)

2016年 「弱者に寄り添う主とともに」
詩編41:2

3. 27 イースター感謝礼拝、愛餐会(13
名)

- 4.17 特別伝道礼拝 「新たに生まれる一主にある人生の答え」 朴徹宣教師(14名)
- 5.29 夕拝において長井正人先生が説教奉仕をして下さり、ご夫妻との交わりの時が与えられた。



- 7.22 辻幸宏協力牧師は、西堀則男牧師、磯貝眞長老より、下記の2点の通告を受ける。

- ①大垣伝道所を閉鎖すること。
- ②辻幸宏協力牧師が辞職すること。

- 9.18 岐阜加納教会小会は臨時小会において、下記のことを決議する。

- ①辻幸宏協力牧師：2018年3月末をもって辞職すること。

- ②大垣伝道所は、2018年3月末をもって閉鎖する。

- 9.25 一日修養会「70周年宣言に生きる」(12名)

11. 6 岐阜加納教会小会時に、上記2点が、大垣委員に説明される。

- 11.13 大垣伝道所懇談会

小会で決議されたことが、説明される。この場で、辻幸宏協力牧師は、下記の4点を提示した。

- ①現状認識を共有すること。
- ②大垣伝道所の今後に関して、一つの結論を得るまで話し合うこと。
- ③最終的なことは、大垣伝道所・岐阜加納教会両会員総会にて決議される必要がある。
- ④全会一致、あるいはほとんどの会員

が納得した形で会員総会で決議しなければ、その後の教会内で不協和音が生じるため、避けなければならない。

- 11.20 特別伝道集会「人生の宝を求めて」辻幸宏協力牧師(14名)
- 12.17 クリスマス子ども集会(11名)
- 12.18 岐阜加納教会会員懇談会「大垣伝道所の将来について」
- 12.23 キャンドル礼拝(14名)



- 12.25 クリスマス感謝礼拝、愛餐会(18名)

2017年 「安らかな信仰生活のために」 マタイ11:28

1. 1 新年礼拝(9名)
- 1.22 大垣伝道所定期会員総会 大垣伝道所閉鎖に関する懇談会を開催する。
- 1.29 岐阜加納教会定期会員総会 大垣伝道所閉鎖に関する懇談会を開催する。
- 4.16 イースター礼拝、愛餐会
- 5.21 加納・大垣合同臨時会員総会
- ①辻幸宏協力牧師辞職願 賛成50、反対11、白票3で可決する。
 - ②西堀則男牧師一年延長 賛成46、反対7、白票3で可決する。
- 5.22 小動物駆除完了。
- 5.28 大垣伝道所会員懇談会
進行：西堀則男牧師
この日、辻幸宏協力牧師は、多治見

教会にて説教奉仕。

6. 11 大垣伝道所会員懇談会 辻幸宏
協力牧師は、4つのシミュレーションを提示する。
7. 3 熊谷美乃里、誕生
7. 16 岐阜加納教会一日修養会 大垣
伝道所に関して懇談会開催。
9. 3 大垣委員連名で小会に要望書を
提出する。
 - ①西濃地区の伝道ビジョン・スケジュー
ールを示して欲しい。
 - ②大垣伝道所閉鎖に関して、大垣臨時
会員総会を開催したい。
 - ③大垣伝道所会堂に関して、土地売却
等のシミュレーションを示して欲しい。
 - ④10月の小会もしくは臨時小会に、大
垣伝道所委員も出席させていただき
たい。
9. 17 岐阜加納教会小会は臨時小会にお
いて、下記の4点を決議する。
 - ①来年の4月以降、大垣伝道所と岐阜
加納教会は一緒に礼拝と教会活動を
行う。
 - ②大垣伝道所で何らかの集会を、小会
と相談して進める。
例えば、月1回午後に礼拝を行う。
その場合は…週報・会計・会堂掃除
等は大垣伝道所の会員が行う。…
 - ③西濃地区の伝道全般については、後
任牧師と相談する。…
 - ④大垣伝道所の状況は、しばらく現状
のままとする。大垣伝道所の土地・
建物も、しばらくは現状のままとす
る。
10. 1 岐阜加納教会小会・大垣委員と
懇談会 9月17日の小会決議が示さ
れ、2016年11月伝道所閉鎖が提示さ
れて以来、初めて小会より具体的な
提案が行われる。懇談会において、
2018年4月に岐阜加納教会に合流す
ること、伝道所は閉鎖する方向性を

確認した。

10. 22 大垣伝道所会員懇談会
11. 5 岐阜加納教会小会は、下記のこ
とを決議する。
 - ①来年の4月以降は一緒に信仰生活を
行う。
 - ②1～3月の大垣伝道所の会計は、今
まで通りとする。等
11. 12 岐阜加納教会会員懇談会
12. 3 岐阜加納教会小会は、以下のこ
とを決議する。
 - ①大垣伝道所 感謝礼拝 2/18
最終礼拝 2/25
 - ②岐阜加納教会に合流 3/4
 - ⑦2018年度の予算案 7月分までを計
上等。
12. 23 キャンドル礼拝(9名)
12. 24 クリスマス礼拝、幼児洗礼式：
熊谷美乃里、愛餐会(14名)



2018年

「神の国の完成にこそ希望がある」 ヨハネ黙示録21:6～7

- 1.21 大垣伝道所定期会員総会にて、
「大垣伝道所での礼拝・各集会を2018年2月末日で終了し、3月1日より岐阜加納教会に合流することの提案」を決議する。
- 1.28 岐阜加納教会定期会員総会において、上記提案は、継続審議となる。
2. 4 岐阜加納教会臨時会員総会において、上記提案は提案理由を書き換えた上で、決議される。
- 2.18 感謝礼拝（出席者：75名）

大垣伝道所 感謝礼拝

日時 主の2018年2月18日（日）
午後3時30分～4時
場所 岐阜加納教会現義人短所

□ 礼 拝

司式 辻 幸宏牧師
奏楽 榎下三恵子姉

| | | | |
|-----------|---------------------------------------|----------|--------|
| 前 奏 | | | |
| 終りの言葉 | 詩編11編2～4節 | 2016年の聖句 | |
| | マタイによる福音書11章28～30節 | 2017年の聖句 | |
| 讃 美 歌 | 119 | | |
| 届 報 告 白 | 「新来の希望についての届報の宣言」 2 新来の希望に生きる途上の民 | | |
| 賛 謝 の 祈 り | 4 3 5 | | |
| 聖 書 朗 読 | ヨハネの黙示録21章1節～7節 | 2018年の聖句 | |
| 新 約 書 經 | 「神の国の完成にこそ希望がある！」 | | |
| | | | 辻 幸宏牧師 |
| 讃 美 歌 | 4 0 5 | | |
| 届 報 告 白 | 「新来の希望についての届報の宣言」 4 キリストの再臨と神の国の完成 | | |
| 讃 謝 の 祈 り | 5 4 1 | | |
| 後 奏 | | | 辻 幸宏牧師 |



□ 感謝会

進行 廣瀬めぐみ委員

| | | |
|---------|------------------------------|--|
| 幹 事 | 司会者 | |
| 控 部 | 元木昭博委員（大垣伝道所） | |
| 控 部 | 西塚昭博牧師（岐阜加納教会） | |
| 控 部 | 橋谷宗洋牧師（中部中会議長・関キリスト教会牧師） | |
| 控 部 | 堀江浩夫 兄（市内福音堂・日本キリスト教会大垣教会長老） | |
| 控 部 | 辻 幸宏牧師 | |
| メッセージ披露 | | |
| 讃 美 歌 | 4 0 5 | |
| 主 の 祈 禱 | | |
| 後 奏 | | |



- 2.25 最終礼拝
- 2.28 最終祈祷会
3. 4 岐阜加納教会へ合流
辻幸宏協力牧師説教・聖餐式奉仕
(辻協力牧師、最後の奉仕)。
- 3.19 辻幸宏協力牧師一家引越。
- 3.31 辻幸宏協力牧師辞職。

大垣伝道所所属会員一覧

| | | | |
|------------|-------------|------------|-----------|
| 服部(笹内)壽賀子、 | 村瀬(元木)典子、 | 高田和一、 | 杉山みね、 |
| 服部 博、 | 中矢(元木)有紀、 | 吉村フサコ、 | 岡田雅絵(未)、 |
| 服部野百合(未)、 | 松本(元木)真理、 | 吉村高明、 | 岡田千紘(未)、 |
| 岡田 忠、 | 又吉ひとみ、 | 吉村美智子、 | 岡田諒人(未)、 |
| 岡田定代、 | 山田義直、 | 吉村真理(未)、 | 三宅維知子、 |
| 岡田幸代、 | 上松(菊池)英美子、 | 吉村恵実(未)、 | 辻 幸宏、 |
| 廣瀬(岡田)めぐみ、 | 吉田晃啓、 | 長井正人、 | 辻三枝子、 |
| 岡田信夫、 | 吉田豊子、 | 長井美登理、 | 辻 紫苑、 |
| 清水伸司、 | 吉田 崇、 | 長井美樹(未)、 | 杉山 明、 |
| 遠山信和、 | 吉田 忍(未)、 | 長井 遣(未)、 | 杉山和子、 |
| 遠山百合子、 | 田辺(表)和美、 | 長井 慎(未)、 | 濱島有督、 |
| 遠山野百合(未)、 | 松井(野村)仁美、 | 松下勝章、 | 祖下三恵子、 |
| 遠山 献(未)、 | 赤出川(土居)真理子、 | 松下道子、 | 熊谷(藤田)康代、 |
| 遠山 泉(未)、 | 小峯 明、 | 松下小羊子(未)、 | 熊谷光祐(未)、 |
| 遠山 愛(未)、 | 小峯真奈美、 | 松下光歩(未)、 | 熊谷美乃里(未) |
| 遠山 純(未)、 | 諏訪哲夫、 | 橋本良雄、 | |
| 元木昭男、 | 諏訪玲子、 | 山口(安江)美樹子、 | |
| 元木順子、 | 宮川富代、 | 小川 洋、 | |

括弧内は旧姓、(未)は在籍当時

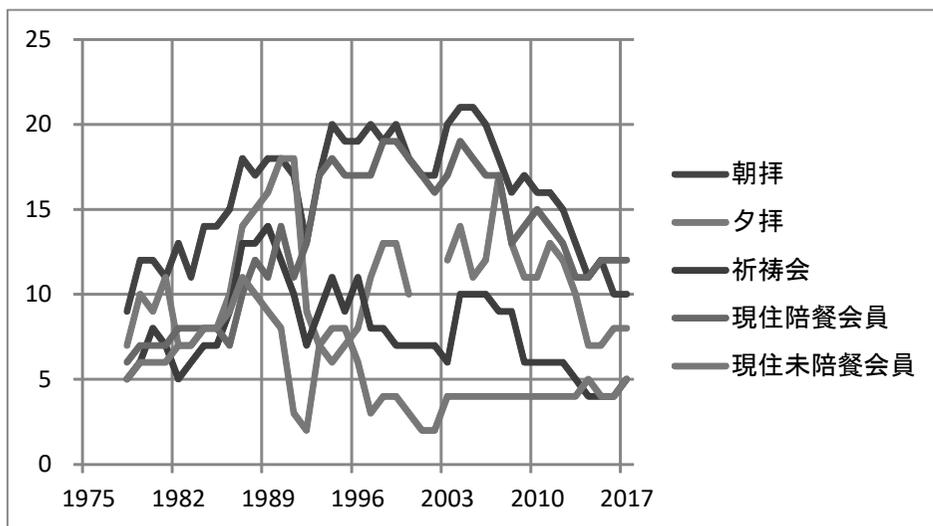
大垣伝道所の歩み

牧師・教会員数・出席者数の推移

| | 牧師 | 朝拝 | 夕拝 | 祈禱会 | 現陪 | 現小 |
|------|------|------|----|-----|----|----|
| 1975 | | | | | | |
| 1976 | | | | | | |
| 1977 | 服部博 | | | | | |
| 1978 | | 9 | 7 | 5 | 6 | 5 |
| 1979 | | 12 | 10 | 6 | 7 | 6 |
| 1980 | | 12 | 9 | 8 | 7 | 6 |
| 1981 | | 11 | 11 | 7 | 7 | 6 |
| 1982 | | 遠山信和 | 13 | 7 | 5 | 8 |
| 1983 | 11 | | 7 | 6 | 8 | 7 |
| 1984 | 14 | | 8 | 7 | 8 | 8 |
| 1985 | 14 | | 8 | 7 | 8 | 8 |
| 1986 | 15 | | 10 | 9 | 7 | 9 |
| 1987 | 18 | | 14 | 13 | 10 | 11 |
| 1988 | 17 | | 15 | 13 | 12 | 10 |
| 1989 | 18 | | 16 | 14 | 11 | 9 |
| 1990 | 18 | | 18 | 12 | 14 | 8 |
| 1991 | 小峯 | | 17 | 18 | 10 | 11 |
| 1992 | 諏訪 | 13 | 9 | 7 | 13 | 2 |
| 1993 | 長井正人 | 17 | 7 | 9 | 17 | 7 |
| 1994 | | 20 | 6 | 11 | 18 | 8 |
| 1995 | | 19 | 7 | 9 | 17 | 8 |
| 1996 | | 19 | 8 | 11 | 17 | 6 |

| | 牧師 | 朝拝 | 夕拝 | 祈禱会 | 現陪 | 現小 |
|------|-----|----|----|-----|----|----|
| 1997 | 小川洋 | 20 | 11 | 8 | 17 | 3 |
| 1998 | | 19 | 13 | 8 | 19 | 4 |
| 1999 | | 20 | 13 | 7 | 19 | 4 |
| 2000 | | 18 | 10 | 7 | 18 | 3 |
| 2001 | | 17 | - | 7 | 17 | 2 |
| 2002 | | 17 | - | 7 | 16 | 2 |
| 2003 | 辻幸宏 | 20 | 12 | 6 | 17 | 4 |
| 2004 | | 21 | 14 | 10 | 19 | 4 |
| 2005 | | 21 | 11 | 10 | 18 | 4 |
| 2006 | | 20 | 12 | 10 | 17 | 4 |
| 2007 | | 18 | 17 | 9 | 17 | 4 |
| 2008 | | 16 | 13 | 9 | 13 | 4 |
| 2009 | | 17 | 11 | 6 | 14 | 4 |
| 2010 | | 16 | 11 | 6 | 15 | 4 |
| 2011 | | 16 | 13 | 6 | 14 | 4 |
| 2012 | | 15 | 12 | 6 | 13 | 4 |
| 2013 | | 13 | 10 | 5 | 11 | 4 |
| 2014 | | 11 | 7 | 4 | 11 | 5 |
| 2015 | | 12 | 7 | 4 | 12 | 4 |
| 2016 | | 10 | 8 | 4 | 12 | 4 |
| 2017 | 10 | 8 | 5 | 12 | 5 | |

中会記録報告より



〔編集後記〕

1975年、岐阜加納教会の50周年事業として始められた大垣伝道所の歩みは、2018年2月をもって、礼拝・集会を終了し、3月から岐阜加納教会に合流することとなりました。また、7月までに臨時会員総会において大垣伝道所の閉鎖を決議し、中部中会に申し出ることとなります。岐阜加納教会の会員を初めとして、多くの方々の祈りと献げ物、さらには励ましにより、43年間、この地にあつて宣教活動が続けることが許されてきましたことを、心から感謝いたします。

ただ、教会設立を果たすことなく、大垣伝道所会員ならびに岐阜加納教会会員に、合流の決断をおこなっていただく結果を招き、主にあつてお詫びいたします。

2016年に岐阜加納教会小会より、大垣伝道所の閉鎖することが提示されましたが、最終的に話しがまとまり、2018年2月末日をもって大垣伝道所の礼拝・集会を終了し、3月より岐阜加納教会に合流することが決まったのが2017年11月であり、最終的には2018年1月21日の大垣伝道所定期会員総会、同28日、2月4日の岐阜加納教会定期・臨時会員総会の決議を待たなければなりませんでした。

そのため大垣伝道所を閉じるにあつて、時間的な制約もあり、当初は、岐阜加納教会と中部中会ならびに市内の各教会の皆さまをお招きして感謝礼拝(2/18)を行い、写真集を出版できればと考えていました。

しかし、年末に「大垣伝道所20周年記念誌」と「岐阜加納教会80年史」を見ていると、重要なことが多く記されており、大垣伝道所を立ち上げ、また閉じる主の御業を残しておくことが必要であることに気付き、急遽、記念誌という形で、文書としてまとめることが、私の大垣伝道所における最後の仕事であることが示されました。

しかし作成期間は、わずか一ヶ月ばかりです。そのため、新たに聞き取り、文書依頼、資料収集などは行わず、残された写真と共に、上記両資料から文書をまとめることが編集の中心となります。さらにそれ以降の記録は、大垣伝道所に残された年報(1986年以降)から、文書をまとめることとしました。

十分な編集、校正の時間が無かったため、誤字脱字・記載漏れ等があるかと思いますが、ご了承くださいませよう、お願いいたします。

最後に、今日まで、共に歩み続けて下さった大垣伝道所に集って下さった方々一人ひとり、大垣伝道所を覚え祈り支えて下さった岐阜加納教会の方々、そして大垣伝道所のことを理解し祈り続けて下さった多くの方々に、心より感謝いたします。そして、大垣伝道所が閉鎖されることを通告されて以来、共に歩み、支え続けてくれた妻と娘にも感謝いたします。

2018年3月末日

岐阜加納教会協力牧師
大垣伝道所担当 辻 幸宏